C70JP07Z1

J 日本語

SIGMA

DP1

THE SIGMA DP1
A FULL SPEC COMPACT
DIGITAL CAMERA WITH ALL
THE POWER OF DSLR

使用説明書

本書は **SIGMA DP1** カメラ本体の使用説明書です。
ソフトウエア“**SIGMA Photo Pro**”のパソコンへのインストール方法、ソフトウエアの使用方法、およびカメラとパソコンの接続方法は、同梱の **SIGMA Photo Pro Disc** 内の **SIGMA Photo Pro** 使用説明書（PDF ファイル）をご覧ください。

このたびはシグマ製品をお買い上げ頂き ありがとうございます

カメラの機能を十分に理解していただき、正しくより良い撮影ができますように、ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、いつまでもご愛用頂きたくお願い申し上げます。

- 使用説明書は、必要なときにいつでも御覧いただける場所に保管して、使用の際に不明な点が生じた場合にご活用ください。
- この製品はご購入より 1 年間の品質保証がなされています。保証の内容、およびアフターサービスについては、別紙の“保証規定”を御覧ください。

著作権について

あなたが本カメラで記録した画像は、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。尚、実演や興行、展示会などのなかには、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

妨害電波自主規制について

本カメラは、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準にもとづくクラス B 情報技術装置です。本カメラは、家庭環境で使用することを目的としていますが、本カメラをラジオやテレビジョン受信機に近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

標準付属品の確認

このカメラには、標準付属品として以下のものが入っています。ご使用になる前にすべて揃っているかご確認ください。万一、足りないものがあるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

①DP1 カメラ本体
②レンズキャップ（カメラ本体に付属）
③ホットシューカバー（カメラ本体に付属）
④ソフトケース
⑤ストラップ
⑥リチウムイオン充電池 BP-31
⑦リチウムイオン充電器 BC-31
⑧充電器用 AC ケーブル
⑨USB ケーブル
⑩AV ケーブル
⑪SIGMA Photo Pro Disc
⑫使用説明書（本書）
⑬保証書
⑭保証規定書

- 画像を記録するメモリーカードは付属していません。別途お買い求めください。

目　次

安全上のご注意

人的損害や物的損害を未然に防止するため、ご使用の前にこの項目の内容を十分ご理解いただくようお願いします。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

各文章の ⚠ 記号は注意、もしくは警告を促す内容を告げています。

各文章の ⃠ 記号は行為を禁止する内容を告げています。

⚠警告（電池、充電器、電源について）

⚠ 電池はお子様の手の届かない場所に保管してください。万一飲み込んだ場合、液漏れにより健康を害するおそれがあります。ただちに医師にご相談ください。

⃠ 使用説明書に指定されていない電池は使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより、カメラの破損、けが、火災の原因となります。

⃠ 電池は指定された機器以外には使用はしないでください。電池の破裂、液漏れにより、カメラの破損、けが、火災の原因となります。

⃠ 強い衝撃や振動を与えたり、投げつけないでください。電池の破裂、液漏れにより、けがや火災の原因となります。

⃠ 電池の分解、火中、水中への投下、加熱、ショートは絶対しないでください。電池の破裂、液漏れにより、けがや火災の原因となります。

⃠ 指定されていない電池を充電しないでください。電池の破裂、液漏れにより、けがや火災の原因となります。

⚠ 万一、カメラや電池から煙が出る、異常に熱くなる、焦げ臭いなどの現象が起きた場合、ヤケドに注意し速やかに電池を抜いて、ご購入店、もしくは弊社営業所にご連絡ください。

⚠ 電池を処分される場合は、テープなどで接点部を絶縁してください。また、お住まいの自治体の規則に従ってください。

⚠ 長期間使用しない場合、電池室から電池を取り出してください。長期間放置しますと液漏れによるカメラの破損の原因となります。

AC 電源を使用する際は、必ず専用の AC アダプターを使用してください。感電、発火の原因となります。

専用の AC アダプターは、他の機器に使用しないでください。発熱、発火、感電、けがの原因となります。

AC アダプターを使用中に煙や異臭、異音が発生した場合、すぐにコンセントを抜いてください。火災や感電の原因となります。

水や異物が AC アダプター内に侵入した場合、すぐにコンセントを抜いてください。火災や感電の原因となります

改造や分解はしないでください。火災や感電の原因になります。

コードの上に重たい物をのせたり、コードを引いたり曲げたり、また熱したりしないでください。コードの損傷、火災や感電の原因になります。

指定(AC100V-240V)された以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になります。

電源コードは、指定されているものを使用してください。

警告（カメラについて）

プロパンガス、ガソリンなどの引火性のガスが発生する場所では、火災、爆発のおそれがありますので、絶対に使用しないでください。

カメラはお子様の手の届かない場所に保管してください。誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。

カメラは自分で分解、改造しないでください。感電、ヤケドのおそれがあります。

落下等で破損した場合、内部に手を触れないでください。感電、ヤケドのおそれがあります。電池を抜いて、ご購入店、もしくは弊社営業所にご連絡ください。

水中に落としたり内部に水が入った場合、電池を抜いてご購入店、もしくは弊社営業所にご連絡ください。そのまま放置しますと火災や感電の原因となります。

カメラ本体のコネクター部に、金属片等を差し込まないでください。感電、発熱、発火の原因となります。

フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。視力障害の原因となります。特に乳幼児を撮影する場合は、1m 以上離れてください。

フラッシュの発光部を手で覆ったまま発光しないでください。ヤケドの原因となります。

⚠注意 （充電器、電源について）

充電器や AC アダプターをコンセントから抜く場合、コードを引っ張らないでください。コードを痛め、火災や感電の原因となります。常にプラグを持ってコンセントから引き抜いてください。

充電器やACアダプターを布やクッションなどで覆い被さないでください。発熱し、本体を変形させたりし、火災の原因となります。

使用しない場合は、安全の為コンセントを抜いてください。

充電器やＡＣアダプターを掃除する場合は、安全の為コンセントから抜いて行ってください。

⚠注意（カメラについて）

レンズキャップをはずしたまま放置しないでください。レンズに長時間日光があたった場合、カメラの故障や火災の原因となることがあります。

三脚にカメラを取り付けたまま移動しないでください。転倒したりぶつけたりして、けがの原因となることがあります。

カメラをぬれた手でさわらないでください。感電することがあります。

カメラを熱いものの近くや、日中の車内に放置しないでください。カメラ自体が高温になり、ヤケドの原因となることがあります。

液晶モニタが破損した場合、ガラスの破片にご注意ください。ケガの原因となります。また、破損により液晶モニタ内部の液体が流出し、以下のような状況になった場合、それぞれの対処を行ってください。

■液体が衣服や皮膚に付着したときは、ただちに石鹸で洗い流してください。

■液体が目に入ったときは、ただちにきれいな水で 15 分以上洗浄し、医師の診療を受けてください。

■液体を飲み込んだときは、大量の水を飲んで吐き出し、医師の診療を受けてください。

取り扱い上のご注意

ご使用の前に

結婚式や海外旅行など、大切な撮影をする前には、事前のチェックや試し撮りをして、カメラが正常に作動するか必ず確認してください。撮影に要した諸経費、および撮影により得べかりし利益の損失等については保証致しかねます。
長期間の旅行、野外撮影、寒冷地での撮影、またはたくさんの写真を撮られるようなときなどには、予備の新しい電池を多めに用意することをおすすめします。地域によっては電池の入手が困難な場合があります。

ご使用の環境や注意点について

■カメラは精密機械です。ぶつけたり、落としたりしないでください。
■このカメラは防水構造になっていませんので水中では使用できません。水滴がついた場合は速やかに乾いたきれいな布で拭きとってください。万一、水がかかったり、水中に落とした場合には早めに弊社営業所にご連絡ください。
■ほこりの多い場所や高温多湿の場所（特に日中の車内等）へ長時間放置しないでください。
■寒い場所から温かい室内に持ち込む場合、カメラに水滴が生じます。カメラをバックやビニール袋に入れて周囲の温度になじませてからご使用ください。
■このカメラの使用可能温度は約 0℃～＋40℃、使用可能湿度は約 80%以下（結露しないこと）です。0℃以下になると電池の性能低下が影響します。寒い場所では予備の電池を用意し、ポケットに入れて保温しながら交互に使用することをおすすめします。
■静電気や磁気の影響により、まれにカメラが作動しなくなることがあります。このようなときは、一旦電池を取り出して再度装填し直してください。また、強い電波や磁気の発生する場所では、カメラが正常に作動しない場合があります。

保管について

■長期間ご使用にならないときは、液漏れによるカメラの破損を防ぐため、電池を取り出して保管してください。
■カビや錆の発生を防ぐため、風通しのよい乾燥した場所に保管してください。カメラを乾燥剤といっしょにビニール袋にいれて保管するのも有効な手段です。ただし乾燥剤は有効期限がありますので、ときどき交換してください。ナフタリン等の防虫剤はカメラに悪影響を与えますのでいっしょに保管しないでください。

液晶モニタについて

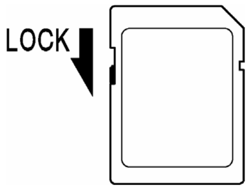
■液晶モニタはその特性上、一部の画素に常時点灯、あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが故障ではありません。また、記録されるデータには影響ありません。予めご了承ください。
■液晶の特性により、低温下で表示の反応が遅くなることがあります。また、高温下で表示が黒くなることがありますが、常温になれば正常に戻ります。

SD メモリーカード、マルチメディアカードについて（別売）

本カメラに使用できるメモリーカードは SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、マルチメディアカードです。

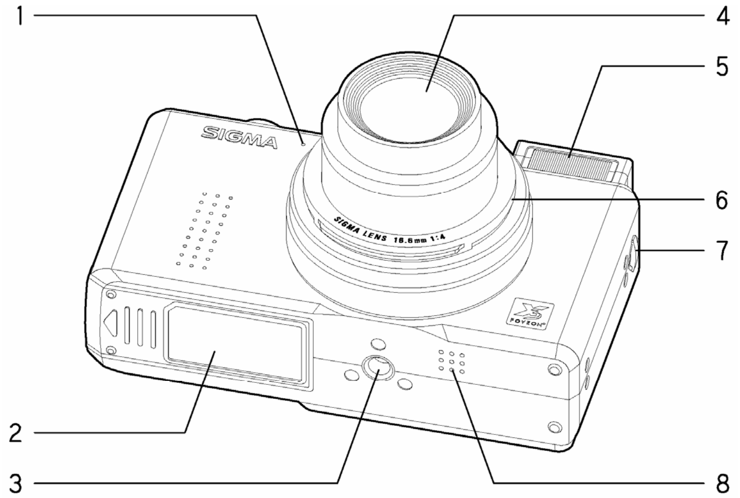
- 本書では SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、マルチメディアカードを「カード」と記載しています。
- 本カメラには SDHC メモリーカード、もしくは高速タイプの SD メモリーカードのご使用をおすすめします。

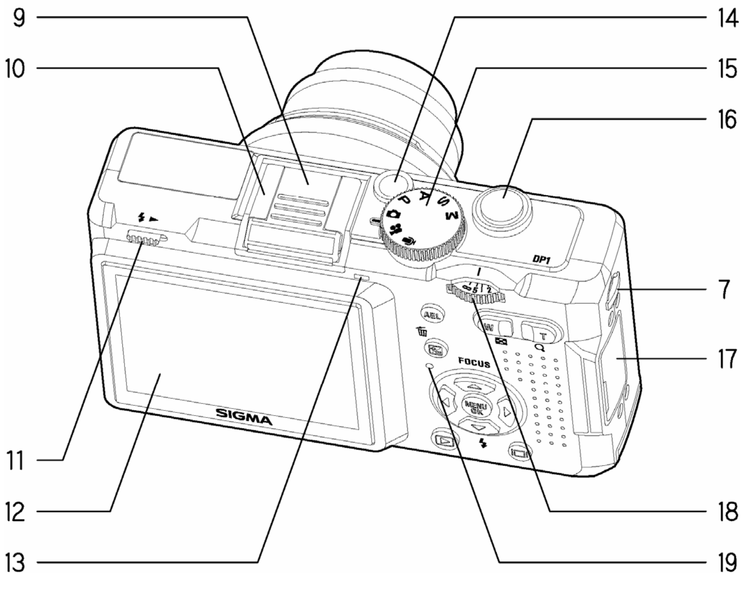
- SD メモリーカード、SDHC メモリーカードはカードへの書込みやフォーマットを禁止できる書込み禁止スイッチを備えています。「LOCK」側にしておくと、データの誤消去を防ぐことができます。

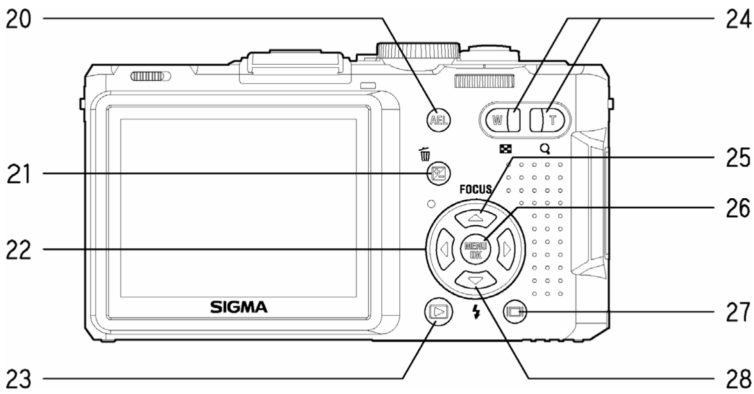


■マルチメディアカードはデータの書込み速度が遅いため、連続撮影や動画撮影モードでのご使用はお勧めできません。
■カードを直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばに放置しないでください。
■カードを温度の高い場所、湿度の高い場所、静電気の起こりやすい場所や電磁波が発生している場所に保管しないでください。
■カードの詳細な取扱い方法は、それぞれの使用説明書の内容に従ってください。
■カメラの「カードの初期化」やパソコンの「削除」の機能では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄／譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。 メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

各部の名称


1
4
5
6
7
2
3
8
SIGMA
SIGMA LENS 16.6mm 1:4
FOVEON


9
14
10
15
16
7
17
11
18
12
19
13
P
A
S
M
AEL
FOCUS
MENU
OK
W
T
DP1
SIGMA

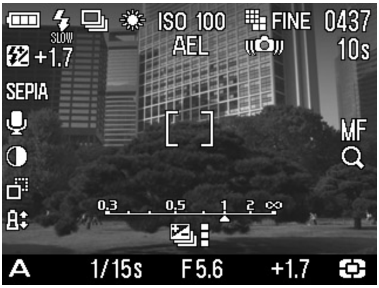


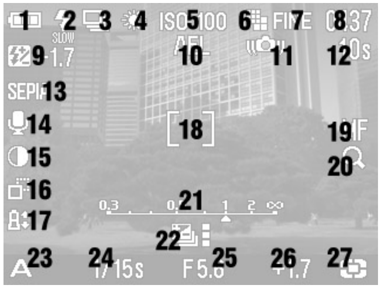
1	マイク
2	電池／カードカバー
3	三脚ネジ穴
4	レンズ
5	フラッシュ発光部
6	レンズキャップ取付部
7	ストラップ取付金具
8	スピーカー
9	ホットシューカバー
10	ホットシュー
11	フラッシュポップアップレバー
12	液晶モニタ
13	フォーカスランプ
14	電源スイッチ
15	モードダイヤル
16	シャッターボタン
17	コネクターカバー
18	MF ダイヤル
19	アクセスランプ

20	AEL (AE ロック) ボタン
21	／ (露出補正／削除) ボタン
22	十字コントローラー
23	(再生) ボタン
24	W T ズームコントローラー
25	FOCUS (フォーカスモード) ボタン
26	MENU OK (メニュー／OK) ボタン
27	(ディスプレイ) ボタン
28	(フラッシュモード) ボタン

液晶モニタの表示

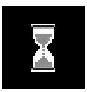
静止画撮影時に表示されるアイコンを説明します。



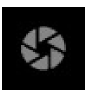


1	電池残量表示
2	フラッシュモード ※
3	ドライブモード ※
4	ホワイトバランス ※
5	ISO 感度 ※
6	画像サイズ
7	画質
8	撮影可能枚数
9	調光補正値 ※
10	AE ロック ※
11	手ぶれ警告
12	録音時間カウンター ※
13	色モード ※
14	音声付静止画 ※
15	コントラスト ※
16	シャープネス ※
17	彩度 ※
18	フォーカスフレーム
19	フォーカスモード ※
20	MF 拡大表示中警告 ※
21	MF スケールバー ※
22	オートブラケット ※
23	露出モード
24	シャッター速度
25	絞り値
26	露出補正値 / 露出メーター ※
27	測光モード

※設定時のみ表示されます。



静止画撮影直後、カメラ内で画像処理中に表示されるマークです。このマークの表示されている間は、次の撮影やボタンによる操作ができません。

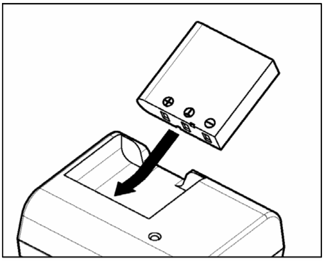


スローシャッター時、露光中であることを示すマークです。

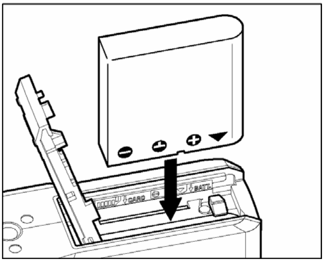
操作の流れと参照項目

DP1 にはたくさんの機能がありますが、このページでおおよその流れをつかんで、各項目で操作の詳細をマスターしてください。

カメラを使う準備をします



電池を充電します（P.19）
付属の専用リチウムイオン充電池を専用充電器で充電します。



電池を入れます（P.20）
ふたの内側の表示に従って電池を入れます。

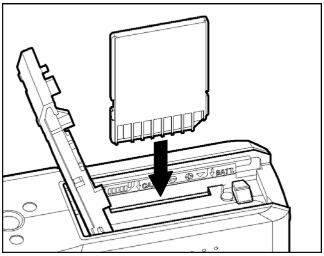


言語を設定します（P.24）
メニュー画面の文字が、ご使用になりたい言語と異なる場合は、言語を変更します。



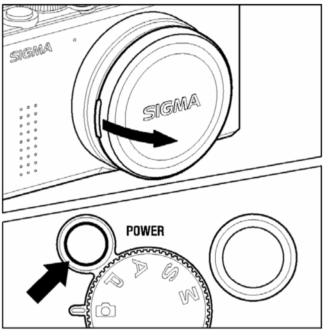
日付と時間を設定します（P.25）

画像データのファイルに撮影日時が正しく記録されるように、 日付と時間の設定をします。



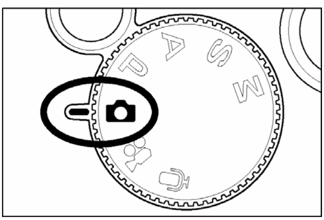
カードを入れます（P.33）

撮影します



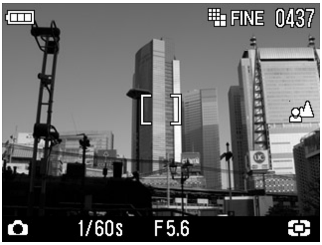
電源を入れます

レンズキャップを外して電源ボタンを押します。



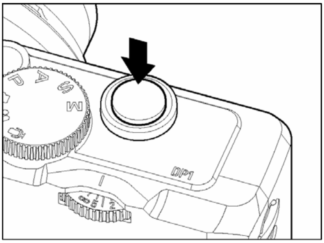
露出のモードを選びます（P.37）

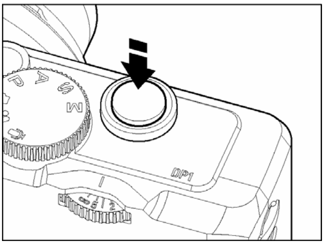
まずは （オートモード）にセットしましょう。



ピントを合わせます（P.45）

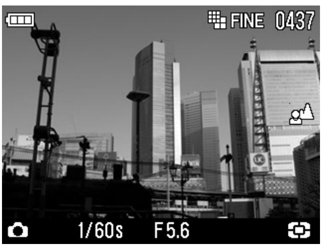
液晶モニタで構図を決めてシャッターボタンを半押しします。





撮影します

さらにシャッターボタンを押し込んで撮影します。



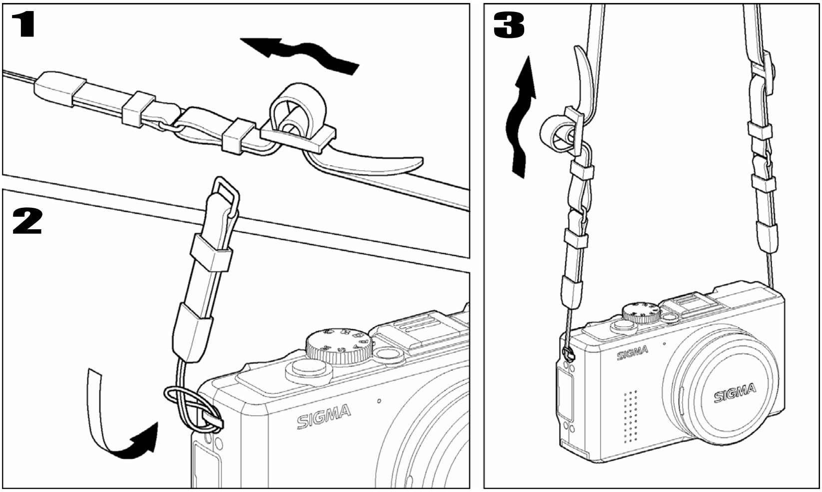
撮影した画像を確認します（P.67）

画像が 2 秒間表示されます。

カメラを使う準備をする

撮影をはじめる前に、必要な準備やチェックする項目について説明します。

ストラップの取り付け方



1

ストラップの片側の止め具を外してほどきます。

2

ストラップの細ひも部をカメラの両側のストラップ金具に取り付けます。

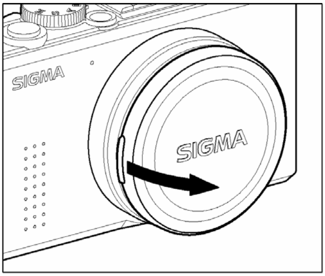
3

ほどいたストラップを元のように組み直して完成です。

レンズキャップ

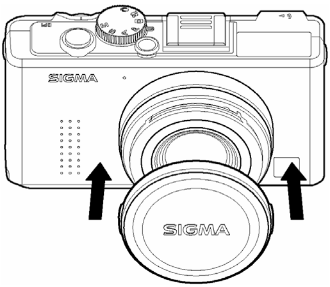
レンズを保護するためにレンズキャップが取り付けられています。カメラを使用しない場合はレンズキャップを取り付けて保管してください。

レンズキャップの外し方



レンズキャップ両脇のの凸部に指をかけて取り外します。

レンズキャップの取り付け方



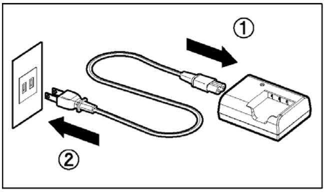
[**SIGMA**]のロゴマークがほぼ水平になるようにしてはめ込みます。

ご注意!!

- レンズキャップを外さないで電源を入れた場合、カメラの保護機能が働き、レンズの繰り出しが中断されます。キャップを外して再度電源を入れ直してください。
- レンズキャップは、レンズが繰り出された状態では取り付けできません。電源を OFF にし､レンズが収納されていることを確認してから取り付けてください。

電池を入れる

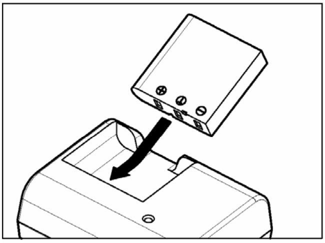
DP1 は、付属の専用リチウムイオン充電池 BP-31 を使用します。お買い上げの際には、電池は充電されていません。付属の専用充電器 BC-31 で充電を行ってからお使いください。



電池を充電する

1

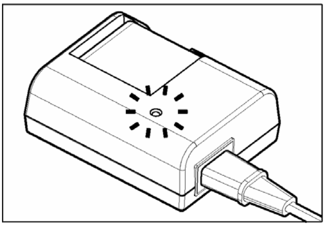
電源コードを、充電器の電源ソケットとコンセントに差し込みます。



2

図のように、電池をスライドさせて充電器に取り付けます。

- 充電中は充電ランプが赤く点灯します。
- 充電時間は約 120 分です。
- 充電時間は周囲の温度や、充電状態によって異なります。



3

充電ランプが緑色に変わったら充電完了です。電池を外して、電源コードをコンセントから抜いてください。

- 電池の充電は、なるべくご使用の直前にされることをおすすめします。日数がたちますと、自然に放電され、使用できる時間が短くなります。
- 充電しても、撮影可能枚数が極端に少なくなった場合は、電池の寿命が考えられます。新しい充電地をお買い求めください。

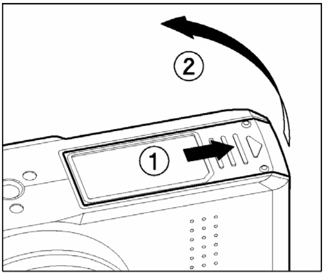
- この製品にはリチウムイオン電池を使用しています。ご使用済の電池は貴重な資源となります。端子にテープを貼りつけて絶縁してからリサイクル協力店にお持ちください。

リサイクル協力店のお問い合わせ先は、

有限責任中間法人 JBRC

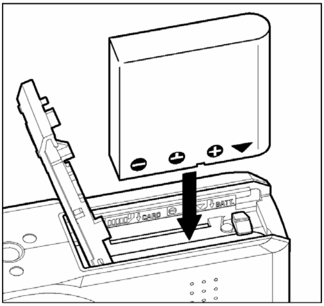
ホームページアドレス：http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html **Li-ion**

電池の入れ方



1

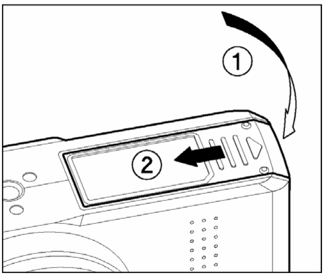
図のように電池／カードカバーをスライドさせて開きます。



2

電池／カード室内の表示に従って電池を入れます。

- 電池がロックされるまで押し込んでください。

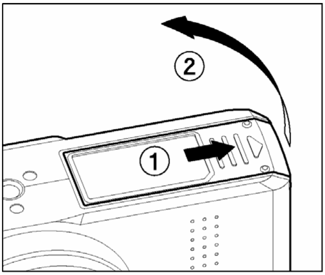


3

電池／カードカバーを閉めます。

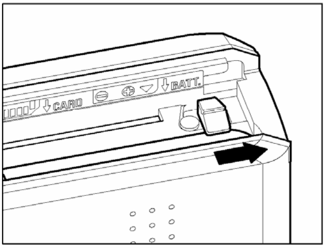
- カチッと音がしてふたがロックされるまでスライドさせてください。

電池の取り外し方



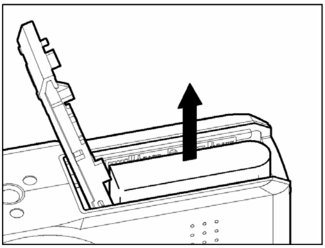
1

電源が OFF になっているのを確認し、図のように電池／カードカバーをスライドさせて開きます。



2

電池ロックレバーを図のようにスライドさせて、電池を取り出します。

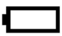


警 告 !!

- アクセスランプが点灯中は、絶対に電池を取り出さないでください。書き込み中のデータが失われます。また、カードが損傷する場合があります。

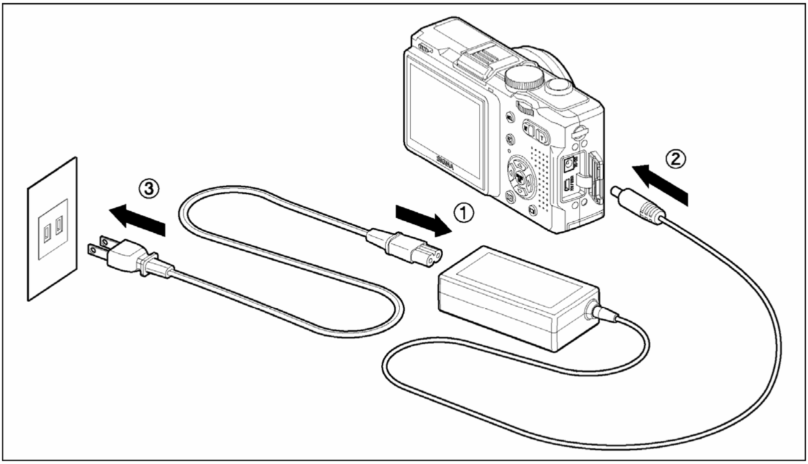
電池のチェック

液晶モニタの左上に電池の残量を示すマークが表示されます。表示の意味と対応は下図の通りです。カメラの使用前及び使用中は、常に電池マークをチェックするよう心がけてください。

	表示の意味と対応
 白	電池の残量が十分にあります。
 白	電池の残量が残り少なくなっています。新しい電池をご用意ください。
 白	電池の残量が殆どなく、まもなくカメラが作動しなくなります。電池を交換してください。
 赤	電池の残量がなく、カメラが作動しません。電池を交換してください。

家庭用電源の使い方（別売）

別売りのＡＣアダプター（SAC-3）を使用して、家庭用電源でカメラを作動させせることができます。長時間の撮影、画像の再生、パソコンとの接続時等におすすめします。



1

AC ケーブルを AC アダプターに接続します。①

2

カメラの電源が OFF になっていることを確認してから、AC アダプターのプラグをカメラ本体に接続します。②

3

AC ケーブルのプラグをコンセントに差し込みます。③

使い終わったらカメラの電源を OFF にして、プラグをコンセントから抜いてください。

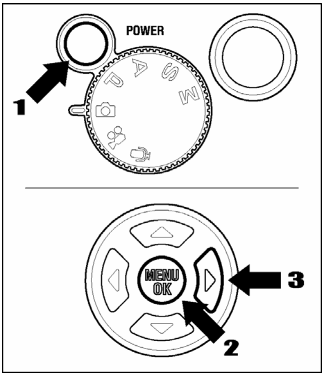
家庭用電源での作動中は、電池の有無、もしくは電池容量にかかわらず、液晶モニタの電池マークはフルの表示になります。電池による作動に切り替えると、本来の残量表示に切り替わります。

警 告 !!

- アクセスランプが点灯中は、絶対に電源の切り替えを行わないでください。書き込み中のデータが失われます。また、カードが損傷する場合があります。

言語の設定

液晶モニタに表示されるメニューやメッセージの言語は、英語が初期設定となっています。セットアップメニューの「言語の設定」で日本語に設定を変更してください。







1

レンズキャップを外し、カメラの電源を入れます。

2

MENU/OK ボタンを押します。

3

▶ボタンを押して「**Set Up**」メニューを開きます。

4

▲▼ボタンを押して「**Language/言語**」を選択し、▶ボタンを押します。

5

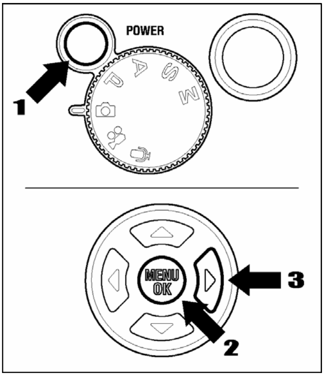
▲▼ボタンを押して「**日本語**」を選択します。言語は下記の 8 種から選択できます。

English	英語
日本語	日本語
Deutsch	ドイツ語
中　文	中国語
Français	フランス語
Español	スペイン語
Italiano	イタリア語
한국어	韓国語

6

確定する場合は、▶ボタンか MENU/OK ボタンを、変更しない場合は、◀ボタンを押します。

日付と時間の設定







初めて使用する場合、あるいは長期間使用していなかった場合は、日付と時間を正しく設定してください。

1

レンズキャップを外し、カメラの電源を入れます。

2

MENU OK ボタンを押してメニュー画面を表示します。

3

▶ボタンを押して「**カメラ設定**」メニューを開きます。

4

▼ボタンを押して「**日付/時間**」を選択し、▶ボタンを押してサブメニューを開きます。

5

再度 ▶ボタンを押すと、年表示が点滅します。▲▼ボタンを押して年を修正します。同様に▶ボタンと ▲▼ボタンで月、日、時間を修正します。

6

確定する場合は、▶ボタンか MENU OK ボタンを、変更しない場合は、◀ボタンを押します。

7

年月日の表示の順番や、12/24 時間表示を変更したい場合は、手順 **4** から、▲▼ボタンで項目を選択し、希望する状態にセットしてください。

メモ

- 日付表示は①年月日②月日年③日月年の 3 種類から選べます。
- カメラの内蔵時計は、カメラ動作用電池から内蔵の充電池に充電された電気で動いています。長期間カメラに電池が入っていない状態で、充電がされていない場合は、内蔵時計を再設定する必要があります。

カメラのセットアップメニュー

カメラ操作の基本となるセットアップメニューについて説明します。

セットアップメニュー画面から、カメラのこまかい機能や、カメラの基本状態を設定することができます。
セットアップメニューは以下の 3 つのグループに分類されています。



「撮影設定」

静止画撮影や動画撮影に関する機能を設定するメニューです。撮影モード時に MENU/OK ボタンを押すと、「**撮影設定**」メニューが開きます。撮影モードによって、表示される項目が異なります。



「再生設定」

画像や動画などの、再生に関する機能を設定するメニューです。DPOF 設定などプリントに関する設定も再生設定メニューに含まれます。再生モード時に MENU/OK ボタンを押すと、「**再生設定**」
メニューが開きます。



「カメラ設定」

日付の設定や言語の選択など、カメラの基本状態を設定するメニューです。撮影、および再生モード時に MENU/OK ボタンを押してメニュー画面を表示し、直後に ▶ボタンを押すと「**カメラ設定**」メニューが開きます

ご注意!!

- ボイスレコードモード時は、セットアップメニューが表示されません。
- 画像情報画面（**P.75**）の表示中は、セットアップメニューが表示されません。

- 大まかには以下のように設定します。項目により、設定方法が若干異なる場合がありますので、各機能の該当ページをご参照ください。

例えば、「**撮影設定**」メニュー内の「**画像サイズ**」の設定を変更したい場合･･･



1

静止画の撮影モード中に MENU/OK ボタンを押して、「**撮影設定**」メニューを開きます。



2

▲▼ボタンを押して「**画像サイズ**」を選択し、▶ボタンを押します。



3

▲▼ボタンを押して、希望の画像サイズを選択します。

4

確定する場合は、▶ボタンか MENU/OK ボタンを、変更しない場合は、◀ボタンを押します。

メ モ

- 手順 **4** の確定時に、▶ボタンを押すと、確定した後に「**撮影設定**」メニュー画面に戻ります。連続して「**撮影設定**」メニュー内の項目を設定したい場合に便利です。MENU/OK ボタンを押した場合は、確定した後に撮影状態に戻ります。

メニューリスト

＊は初期設定の項目を示しています。項目によっては、販売国で設定が異なることがあります。
設定内容の詳細は、各項目の該当ページをご覧ください。

撮影設定

項　目	モード	オプション	設定内容	頁
ISO 感度	**P,A S,M**	**オート＊ 100 200 400 800**	大きい数値ほど、感度が高くなります。（ただし画像にノイズが増えることがあります。）	**53**
画像サイズ	**P,A S,M**	**HI＊ WIDE 16:9 MED LOW**	記録する画像サイズ（記録画素数）の設定をします。	**54**
画質	**P,A S,M**	**FINE＊ NORM BASIC RAW**	記録する画質を設定します。（RAW はパソコンにインストールした専用ソフトによる現像が必要です。）	**55**
ホワイトバランス	**P,A S,M**	**オート＊ 晴れ 日陰 くもり 白熱電球 蛍光灯 フラッシュ カスタム**	撮影時の光源の種類に応じて、ホワイトバランスのモードを選択します。	**50-52**
色モード	**P,A S,M**	**通常＊ セピア 白黒**	通常撮影、セピア調撮影、白黒撮影の選択をします。	**63**
ドライブモード	**P,A S,M**	**1 コマ撮影＊ 連写 セルフ 2 秒 セルフ 10 秒**	セルフタイマーなどのカメラの動作モードを設定します。	**48,49**
測光モード	**P,A S,M**	**評価測光＊ 中央部重点 スポット**	被写体の状況に合わせ、3 つの測光方式を選べます。	**57,58**
AF エリア	**P,A S,M**	フォーカスフレームの選択	画面上のフォーカスフレームの選択をします。	**46**

撮影設定（つづき）

項　目	モード	オプション	設定内容	頁
オートブラケット	P, A S, M	ずらし量 ±3.0EV	オートブラケット撮影機能の有効、無効の設定と、露出のずらし量の設定をします。	61,62
デジタルズーム	P, A S, M	OFF＊ ON	撮影時のデジタルズーム機能の有効、無効を設定します。	64
音声付静止画	P, A S, M	OFF＊ ON	撮影直後の音声記録機能の有効、無効を設定します。	65
コントラスト	P, A S, M	調整量 ±5 段	+側にすると明暗差が強くなり、–側にすると明暗差が弱くなります。	55,56
シャープネス	P, A S, M	調整量 ±5 段	+側にすると輪郭のはっきりとした画像になり、–側にするとソフトな画像になります。	55,56
彩　度	P, A S, M	調整量 ±5 段	+側にすると色鮮やかな画像になり、–側にすると落ち着いた画像になります。	55,56
カラースペース	P, A S, M	sRGB＊ Adobe RGB	色空間の規格である「sRGB」か、「Adobe RGB」を選択します。	55,56

再生設定

項　目	オプション	設定内容	頁
スライドショー	全画像＊ ロックのみ マークのみ 表示間隔　2 秒＊ 5 秒 10 秒 繰り返し　いいえ＊ はい	スライドショーの再生条件を設定します。	91,92
ロック	ロックしない＊ ロック マーク画像を全てロック すべてロック すべてロック解除	ファイルの誤消去を防ぐ「ロック機能」の設定、解除を行います。	82-84

▶ 再生設定（つづき）

項　目	オプション	設定内容	頁
マーク	**マーク解除＊** **マーク** **全画像マーク** **全画像マーク解除**	ファイルの選別に便利なマーク機能の設定、解除を行います。	**85-87**
回転	**回転↱＊** **回転↰**	記録された画像の回転を実行します。	**88-89**
音声メモ	**記録しない＊** **記録する**	記録された画像に音声を付加できる「音声メモ機能」の有効、無効を設定します。	**89,90**
DPOF プリント	**選択設定** **全ての画像** **全て解除**	DPOF 規格対応のプリンターでプリントする際の枚数設定を行います。	**101**

カメラ設定

項　目	オプション	設定内容	頁
日付 / 時間	[日付/時間の設定] [12/24 時間表示の設定] [年/月/日の表示順の設定]	ファイルに記録される日付や時間に関する設定を行います。	**25**
言語 / Language	**英語＊** **日本語** **ドイツ語** **中国語** **フランス語** **スペイン語** **イタリア語** **韓国語**	メニューやメッセージで表示される言語を選択します。	**24**
撮影画像確認	**2 秒＊** **5 秒** **10 秒** **切**	撮影後、液晶モニタに自動的に表示される確認画像の表示時間を設定します。	**67,68**
AEL ボタン設定	**AEL＊** **中央 AFL** **AEL+中央 AFL**	カメラ背面の AEL ボタンに割りふる機能の選択を行います。	**58,59**
ファイル番号	**通し番号＊** **オートリセット**	新しいカードをカメラに入れたとき、もしくはカードを初期化した後などの、ファイル番号の付き方の設定です。	**105**
液晶の明るさ	**標準＊** **暗い** **明るい**	液晶モニタのバックライトの明るさを設定します。（画像データには影響しません。）	**—**

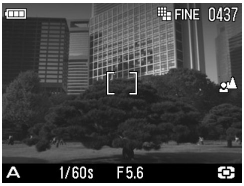
カメラ設定（つづき）

項　目	オプション	設定内容	頁
液晶のコントラスト	**標準＊** **高い** **低い**	液晶モニタのコントラストを設定します。（画像データには影響しません。）	—
LCD スリープ	**30 秒** **1 分＊** **2 分** **5 分** **しない**	操作をしない時に、自動的に液晶モニタが消灯するまでの時間を設定します。 （しない）は自動的に消灯しなくなる設定です。	**106**
オートパワーオフ	**10 秒** **30 秒** **1 分** **2 分＊** **5 分** **しない**	操作をしない時に、自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。 （しない）は自動的に電源が切れなくなる設定です。	**106**
操作音	**あり＊** **なし**	ボタンを押したときの操作音の有無を設定します。	—
シャッター音	**あり＊** **なし**	シャッター音の有無を設定します。	—
スピーカー音	音量の設定 10 段	スピーカーの音量を設定します。	—
ビデオ出力	**NTSC ＊** **PAL**	カメラを TV やビデオにつないだときのビデオ出力方式を設定します。ご使用の地域に合った方式に切換えます。	**78**
USB モード	**ストレージ＊** **PictBridge**	パソコンにつなぐ際の「ストレージ」か、プリンターにつなぐ際の「PictBridge」を選択します。	**98,110**
カードの初期化	**実行する　しない** **する**	カードを初期化します。 （カード内のすべてのファイルが消去されます。）	**35**
リセット	**実行する　しない** **する**	すべての設定を初期設定に戻します。（言語は英語に設定されます。）	—
ファームウェア	**現在バージョン** **アップデート**	現在のファームウェアバージョンの確認と、カードから、最新ファームウェアのアップデートができます。	—

液晶モニタの表示を切り替える

[表示切替ボタン] ボタンを押すと、アイコンの表示/非表示を切り替えるなど、表示の状態を変更することができます。

アイコン表示



→

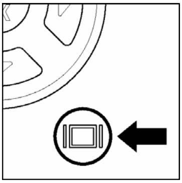
アイコン非表示



→

液晶モニタ OFF





[表示切替ボタン] ボタンを押すたびに、液晶モニタの表示状態が以下のように切り替わります。

撮影時

静止画モード（ [カメラ], **P**, **A**, **S**, **M** ）
アイコン表示 → アイコン非表示 → 液晶モニタ OFF → • • •
静止画モード MF 設定時（**P**, **A**, **S**, **M** ）
アイコン表示 → 拡大表示 → 液晶モニタ OFF → • • •
動画モード [動画]
アイコン表示 → アイコン非表示 → • • •
ボイスレコードモード [マイク]
アイコン表示 → 液晶モニタ OFF → • • •

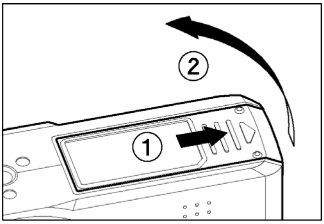
再生時

静止画
アイコン表示 → アイコン非表示 → 画像情報表示 (**P.75**) → • • •
動画
アイコン表示 → アイコン非表示 → • • •
ボイスレコード
アイコン表示のみ

カードの入れ方と取り出し方

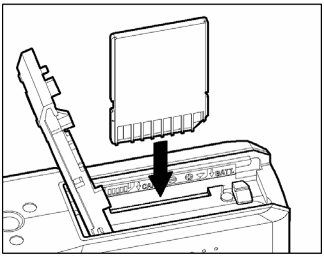
DP1 は、データの記録にメモリーカードが必要です。使用できるメモリーカードは SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、マルチメディアカードです。

カードの入れ方



1

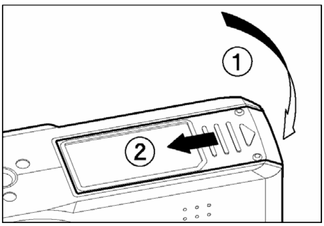
電源が OFF になっているのを確認し、図のように電池／カードカバーをスライドさせて開きます。



2

電池／カード室内の表示に従ってカードを入れます。

- カチッと音がするまでカードを押し込んでください。



3

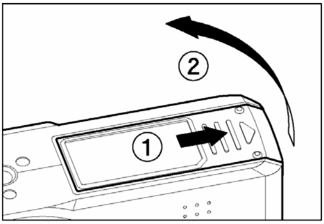
電池／カードカバーを閉めます。

- カチッと音がしてふたがロックされるまでスライドさせてください。

メ モ

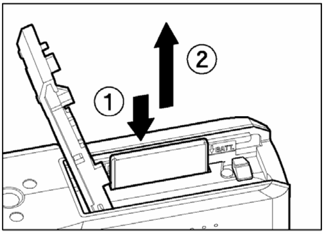
- 必要に応じて使用前にカードを初期化してください。（**P.35** 参照）

カードの取り出し方



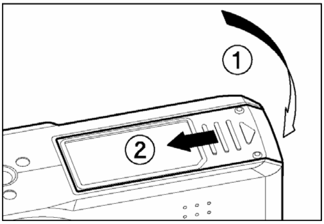
1

電源が OFF になっているのを確認し、図のように電池／カードカバーをスライドさせて開きます。



2

カードをカチッと音がするまで押し込み、まっすぐ引き抜いてください。



3

電池／カードカバーを閉めます。
カチッと音がしてふたがロックされるまでスライドさせてください。

警 告 !!

- アクセスランプの点滅中は、次のことは絶対に行わないでください。（アクセスランプの点滅中は、画像の書き込みや読み込み、消去がカメラとカードの間で行われています。次のことを行うと、画像データが消えたり、壊れる原因になります。）
  ① カードを取り出さないでください。
  ② 電池を取り出さないでください。
  ③ カメラに衝撃や振動を与えないでください。

メ モ

- 電源を OFF にしても、カードへのアクセスが終了するまでは、アクセスランプが点灯し、電源が切れません。

カードの初期化

新しいカードは使用する前に初期化しなければなりません。また、他のファイルフォーマットで初期化されている場合や、データが壊れていたり、カードに異常がある場合も使用前に初期化する必要があります。

1

レンズキャップを外し、カメラの電源を入れます。

2

MENU/OK ボタンを押します。

3

▶ボタンを押して「**カメラ設定**」メニューを開きます。

4

▲▼ボタンを押して「**カードの初期化**」を選択し、▶ボタンを押します。

5

もう一度 ▶ボタンを回押します。

6

初期化をする場合は▲▼ボタンを押して「**する**」を選択して MENU/OK ボタンを押します。

初期化を中止したい場合は▲▼ボタンを押して「**しない**」を選択して MENU/OK ボタンを押します。

警 告!!

- 初期化はロックされた画像とそれ以外のファイルもすべて消去します。

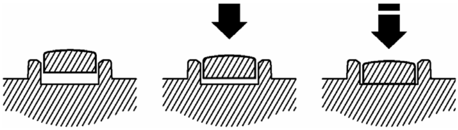
メ モ

- 他のカメラや機器でカードを初期化すると、DP1 で正常に動作しなかったり、容量が少なくなっていることがあります。画像を最大限記録するには、使用前に DP1 で初期化してください。

シャッターボタンの押し方

シャッターボタンは 2 段階になっています。

軽く押して止まるところが 1 段目で、カメラが撮影状態になり、ピントの機構が作動します。この状態までシャッターボタンを押すことを“半押し”と言います。半押しの状態からさらに押し込むとシャッターが切れます。



メ　モ

- 撮影をする前に、何回かシャッターを切って“半押し”の感覚をつかむと共に、カメラに慣れるように各部を操作して練習することをおすすめします。

基本撮影

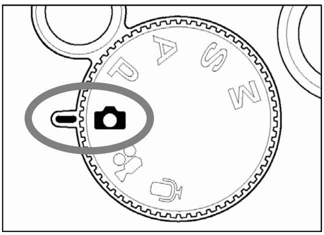
実際に撮影する上での基本的な操作を説明します。

露出のモードを選ぶ

露出を決める 4 つのモードの特徴と操作方法を説明します。

オートモード

初心者の方でも簡単に撮れるモードです。基本的には **P**（プログラムオート）と同じですが、設定しなければならない項目を少なくしています。被写体の明るさに応じて、カメラが最適なシャッター速度と絞りを決めてくれます。





1

モードダイヤルを にします。

2

シャッターボタンを半押してピントを合わせ撮影します。

オートモード時の撮影設定内容

オートモード時は以下の撮影設定項目の設定状態が固定されます。

「**撮影設定**」の項目	設定内容
ISO 感度	オート
ホワイトバランス	オート
測光モード	評価測光
AF エリア	中央固定
オートブラケット	OFF (± 0)
コントラスト	標準 (± 0.0)
シャープネス	標準 (± 0.0)
彩　度	標準 (± 0.0)
カラースペース	SRGB

以下の項目は好みの設定に変更することができます。詳しくは該当ページをご覧ください。

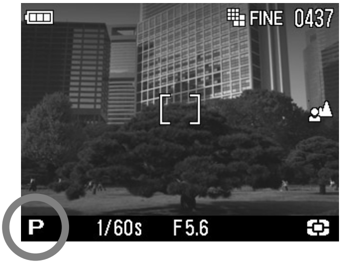
- 画像サイズ (**P.54**)
- 画質 (**P.54, 55**)
- 色モード (**P.63**)
- ドライブモード (**P.43, 44**)
- デジタルズーム (**P.64**)
- 音声付静止画 (**P.65**)

ご注意 !!

- シャッター速度が 1/25 秒より遅い場合、液晶モニタに マークが点灯し、手ぶれをおこしやすい状態になっていることを警告します。フラッシュ撮影 (**P.43, 44, 66**) を行うか、三脚等に固定して撮影してください。
- フラッシュモードのスローシンクロと調光補正は設定できません。
- AEL ボタンは使用できません。
- フォーカスモードの MF（手動でのピント合わせ）は設定できません。

P プログラムオート

気軽な撮影にはこのモードを選びます。被写体の明るさに応じて、カメラが最適なシャッター速度と絞りを決めてくれます。



1

モードダイヤルを **P** にします。
（露出表示が緑色で表示されます。）

2

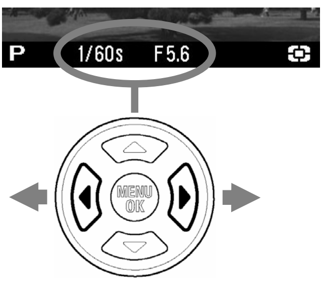
シャッターボタンを半押してピントを合わせ撮影します。

ご注意 !!

- シャッター速度が 1/25 秒より遅い場合、液晶モニタに マークが点灯し、手ぶれをおこしやすい状態になっていることを警告します。フラッシュ撮影 (**P.43, 44, 66**) を行うか、三脚等に固定して撮影してください。
- 明るすぎたり暗すぎた場合、シャッター速度と絞り表示が点滅して警告します。そのまま撮影すると露出が合いません。

プログラムシフト

カメラが選んだシャッター速度と絞りの組み合わせを同じ露出を保ったままを変更することができます。◀▶ボタンで希望するシャッター速度と絞りの組み合わせを表示させてください。



■ 撮影後は自動的に解除されます。

A 絞り優先オート

希望の絞りをセットし、被写体の明るさに応じてカメラが最適なシャッター速度を決めてくれます。絞り込んでピントの合う範囲を広げたり、絞りを開けて背景をぼかすなど、絞りの効果を生かした撮影ができます。



1

モードダイヤルを **A** にします。
（絞り値が緑色で表示されます。）

2

◀▶ボタンで希望の絞りを設定します。
（絞りは F4～F11(1/3 ピッチ)の範囲で設定できます。）

3

シャッターボタンを半押してピントを合わせ撮影します。

• 設定する絞り値によって、制御されるシャッター速度の範囲が以下のように制限されます。

絞り	シャッター速度
F4.0 ~ F5.0	15s ~ 1/1000s
F5.6 ~ F7.1	15s ~ 1/1250s
F8.0 ~ F9.0	15s ~ 1/1600s
F10 ~ F11	15s ~ 1/2000s

ご注意 !!

- シャッター速度が 1/25 秒より遅い場合、液晶モニタに マークが点灯し、手ぶれをおこしやすい状態になっていることを警告します。フラッシュ撮影 (**P.43, 44, 66**) を行うか、三脚等に固定して撮影してください。

- 明るすぎたり暗すぎた場合、シャッター速度表示が点滅して警告します。明るすぎる場合は絞り込み（数字を大きく）、暗すぎる場合は絞りを開けて（数字を小さく）、点滅が消えるように調整してください。

S シャッター速度優先オート

希望のシャッター速度をセットし、被写体の明るさに応じてカメラが最適な絞りを決めてくれます。高速シャッターで動きを止めたり、低速シャッターで動きを表現するなど、シャッター速度の効果を生かした撮影ができます。



1

モードダイヤルを **S** にします。
（シャッター速度値が緑色で表示されます。）

2

◀▶ボタンで希望のシャッター速度を設定します。
（シャッター速度は 15 秒～1/2000 秒(1/3 ピッチ)の範囲で設定できます。）

3

シャッターボタンを半押してピントを合わせ撮影します。

- 設定するシャッター速度によって、制御される絞りの範囲が以下のように制限されます。

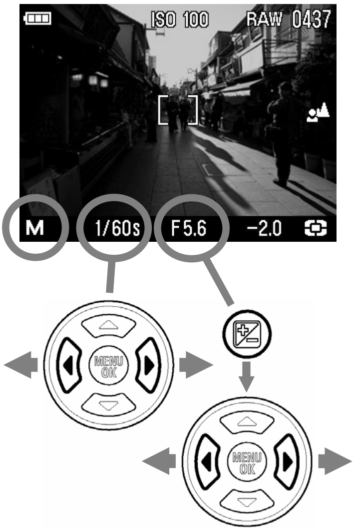
シャッター速度	絞り
15s ~ 1/1000s	F4.0 ~ F11
1/1250s	F5.6 ~ F11
1/1600s	F8.0 ~ F11
1/2000s	F10 ~ F11

ご注意 !!

- 明るすぎたり暗すぎた場合、絞り表示が点滅して警告します。明るすぎる場合はシャッター速度を速くし、暗すぎる場合はシャッター速度を遅くして、点滅が消えるように調整してください。

M マニュアル露出

自分で希望のシャッター速度と絞りをセットします。カメラの露出メーターの数値に基づいて、わざと露出をずらして表現に工夫を加えたり、市販の外部露出計を利用して露出を決める場合などに使用します。



1

モードダイヤルを **M** にします。
（シャッター速度値が緑色で表示されます。）

2

◀▶ボタンで希望のシャッター速度を設定します。

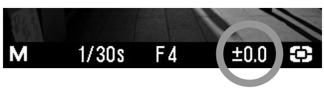
3

☒ボタンを押します。
（絞り値が緑色で表示されます）

4

露出メーターの数値が **±0.0** になるように◀▶ボタンで絞りを設定します。

- 露出メーターの表示は 1／3 段ステップで ±3 段まで表示されます。表示範囲を超えた場合、露出メーターの数字が点滅表示されます。



5

シャッターボタンを半押してピントを合わせ撮影します。

- 設定できるシャッター速度と絞りの組合せは、以下の表のようになります。

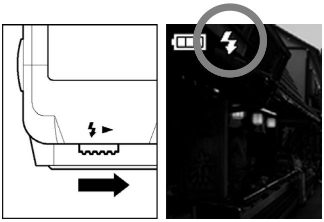
シャッター速度	絞り
15s ~ 1/1000s	F4.0 ~ F11
1/1250s	F5.6 ~ F11
1/1600s	F8.0 ~ F11
1/2000s	F10 ~ F11

- シャッター速度を変更したときに、使用できない絞り値になった場合は、自動的に使用可能な絞り値に変更されます。
- 絞り値を変更したときに、使用できないシャッター速度になった場合は、自動的に使用可能なシャッター速度に変更されます。

内蔵フラッシュを使う

このカメラは夜間の撮影に便利な S-TTL オート制御小型フラッシュを内蔵しています。

内蔵フラッシュ撮影



1

フラッシュポップアップレバーをスライドしてフラッシュ発光部をポップアップさせます。

2

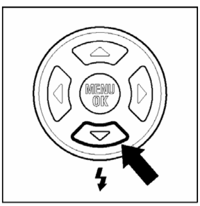
液晶モニタのフラッシュモードのアイコンが点灯していることを確認して撮影します。

- フラッシュの充電中はフラッシュモードのアイコンとフォーカスランプ（赤）が点滅し、シャッターが切れません。
- フラッシュ撮影を終了したら、フラッシュ発光部を上から押して収納してください。

■フラッシュで撮影できる範囲は以下の通りです。（オートモード、P モード時）

ISO 感度	フラッシュ調光範囲
オート	0.3m ～ 3m
ISO100	0.3m ～ 1.5m
ISO200	0.3m ～ 2.1m
ISO400	0.3m ～ 3m
ISO800	0.3m ～ 4.3m

フラッシュモードの設定



通常のフラッシュ撮影のほかに、赤目緩和モードや調光補正などが設定できます。

⚡ボタンを押して希望のフラッシュモードを選択します。

- フラッシュ発光部が収納された状態では、フラッシュモードの設定ができません。

強制発光モード
内蔵フラッシュをポップアップした時、通常の発光が行われます。

■通常はこのモードに設定してください。

赤目緩和モード
フラッシュを使用して人物を撮影すると、瞳が赤く写ることがあります。赤目緩和モードはシャッターが切れる前に数回のプリ発光を行い、赤目現象を緩和することができます。

■撮影条件や個人差により、完全に赤目現象を除去できない場合があります。

SLOW SLOW スローシンクロモード
/ P / A モード時のフラッシュ撮影では、シャッター速度が手ぶれを起こしにくいシャッター速度(1/30 秒以上)に制限されますが、スローシンクロモードに設定すると、明るさに応じて 15 秒までのスローシャッターで制御されます。夜景と人物の両方に露出の合った写真を撮ることができます。

調光補正
背景の露出には影響を与えずに、フラッシュの光量のみ補正することができます。

補正量のセットの仕方



1

ボタンを押して マークを表示させ、◀▶ボタンで補正量をセットします。
• 補正量は 1／3 段ピッチで、±3 段までできます。

2

再度 ボタンを押して確定します。（補正値の数字が緑色から白色に変わります）
• シャッターボタンを半押ししても確定されます。

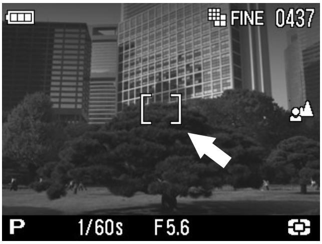
ご注意!!

● 調光補正は自動的に解除されません。撮影が完了したら ボタンを数回押して補正量のセットが可能な状態（補正値の数字が緑色の状態）にして、補正量を±0.0 に戻してください。

ピントを合わせる

オートフォーカスの設定方法や、手動でのピント合わせについて説明します。

オートフォーカスによるピント合わせ



画面中央に被写体をいれてシャッターボタンを半押しします。

• ピントが合うとフォーカスフレームが緑色に変わります。（同時にフォーカスランプが緑色に点灯します）
• ピントが合わない場合、フォーカスフレームが点滅して警告します。（同時にフォーカスランプが赤色で点滅します）



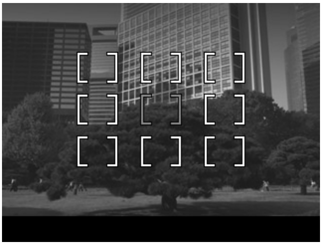
通常のオートフォーカスモード（マーク表示）では、ピントの合う範囲が無限遠から 50cm ですが、FULL モードに切り替えると、近距離側のピント範囲を 30cm まで拡大することができます。 **FOCUS** ボタンを 1 回押して FULL モード（マークなしの状態）に切り替えてください。

オートフォーカスは、次のような被写体にはピントが合わない場合があります。

■ 白い壁など、コントラストのない被写体
■ 画面の中央に強い光源がある場合
■ ビルの窓など、繰り返しパターンがある場合
■ 動きが速い場合
■ フォーカスフレーム内に近くと遠くのものが混在している場合

ピントが合わない時は、ほぼ同距離にある被写体でフォーカスロック撮影するか、マニュアル（手動）でのピント合わせを行ってください。

フォーカスフレームの選択



DP1 は、画面内に 9 箇所のフォーカスフレームを備えており、ピントの合うポイントを選択することができます。

1

MENU OK ボタンを押して「**撮影設定**」メニューを開きます。

2

ボタンを押して「**AF エリア**」を選択し、ボタンを押します。

3

ボタンで希望のフォーカスフレームを選択し、MENU OK ボタンを押して確定します。

フォーカスロック撮影

被写体がフォーカスフレームに入らない場合の撮影方法です。

1

フォーカスフレームに被写体を入れてシャッターボタンを半押しし、ピントを合わせます。

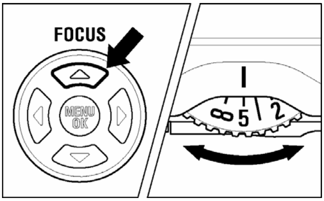
2

ピントが合い、フォーカスフレームが緑色に変わったら、シャッターボタンを半押ししたまま、構図を決めて撮影します。



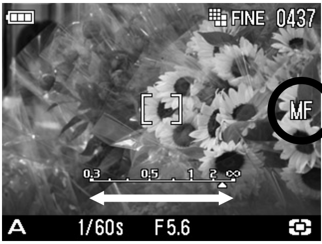
マニュアル（手動）でのピント合わせ

オートフォーカスが苦手な被写体や、フォーカスロックが行えない場合、マニュアルでピントを合わせてください。



1

FOCUS ボタンを数回押して、MF モードにします。（液晶モニタに **MF** マークとスケールバーが表示されます。）



2

MF ダイヤルを左右に回し、ピントを合わせたい部分がハッキリ見える位置にあわせます。

オートフォーカス撮影と同様に、フォーカスフレームを選択することができます。**P.46** の「フォーカスフレームの選択」を参照してください。

拡大表示によるピント合わせ

MF モード中に ボタンを押すと拡大表示され、ピントが合わせやすくなります。

- 拡大表示中は液晶モニタに マークが表示されます。シャッターボタンを半押しすると、拡大表示が一時的に解除されます。
- 拡大表示を解除するには、 ボタンを押して表示を切り替えてください。
- 拡大表示は、液晶モニタに表示されているフォーカスフレームを中心として拡大されます。

ご注意!!

- MF ダイヤルの目盛とスケールバーの表示は、実際の距離と異なる場合があります。あくまでも目安としてお使いください。
- モードダイヤルを回して撮影モードを切り替えると、フォーカスモードの設定がクリアされる場合があります。撮影モードを切り替えた場合は、フォーカスモードの設定を確認してください。
- 拡大表示中は、フォーカスフレームの切り替えができません。
- MF モード設定時は、デジタルズームが使用できません。

ドライブモードを選ぶ

セルフタイマーや連写などの、カメラの動作モードを説明します。



ドライブモードは「撮影設定」メニューで設定します。

1

MENU/OK ボタンを押して「**撮影設定**」メニューを開きます。

2

ボタンを押して「**ドライブモード**」を選択し、ボタンを押します。

3

ボタンを押して、希望のモードを選択します。

4

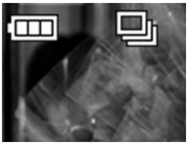
確定する場合は、ボタンか MENU/OK ボタンを、変更しない場合は、ボタンを押します。

1コマ撮影

1コマ撮影

シャッターを押して撮影が終了すると1コマ分撮影され、次の撮影のスタンバイ状態になります。通常は1コマ撮影にセットしてください。

連続撮影



連　写

シャッターを押し続けている間、連続撮影ができます。

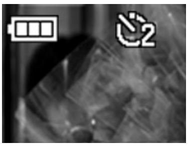
• 連続撮影できるコマ数は 3 コマです。

ご注意!!

● 連続撮影された画像データは、一旦カメラ内蔵のバッファーメモリに書き込まれます。バッファーメモリに空き容量がなくなると、それ以上はシャッターが切れなくなります。画像データがバッファーメモリからカードに転送され、空き容量ができた時点で次の撮影が可能になります。

セルフタイマー撮影

記念撮影で撮影者も一緒に写りたい場合や、カメラブレを防ぐ目的で使用することができます。



セルフ 2 秒

シャッターボタンを押してから約 2 秒後にシャッターが切れます。



セルフ 10 秒

シャッターボタンを押してから約 10 秒後にシャッターが切れます。

構図を決め、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。さらにシャッターボタンを押し込むとセルフタイマーが作動します。作動中は電子音が鳴り、２秒前になると電子音が速くなり知らせます。

■「**カメラ設定**」メニュー内「**操作音**」の設定が「**なし**」に設定されていると、セルフタイマー動作時にも音が鳴りません。

■セルフタイマーを作動中に解除をしたい場合は、電源スイッチを OFF にしてください。

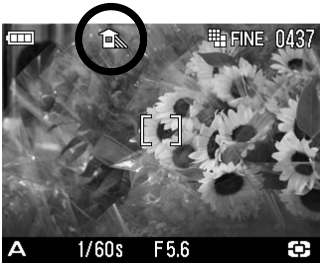
応用撮影

“写真の表現に工夫を加えたい”そんな時に応えてくれる機能の説明をします。

ホワイトバランスの選択（WB）

人間の目は、照明の種類が変わっても、白いものは白く見えるように自動的に調整する能力をもっています。フィルムカメラの場合は、フィルターで調整したり、使用する光源に適したフィルムを選択して対処します。デジタルカメラは、人間の目のような調整能力をソフトウェアでおぎなうことができます。この調整をホワイトバランスと言います。自動的にホワイトバランスを調整する機能をオートホワイトバランスと言います。

- 通常、ホワイトバランスは、初期設定の **AWB**（オートホワイトバランス）により自動調整されますが、マニュアルでセットすることもできます。
- ホワイトバランスの設定は、「 **撮影設定**」メニューで行います。（次ページ参照）
- マニュアルでセットする場合は、照明の種類が明らかになっている必要があります。
- マニュアルでセットできる光源の種類は、次ページの表のとおりです。
- 次ページの表内の「**カスタム**」とは、実際の照明下で撮影し、取り込んだ画像を基準としてホワイトバランスを調整する、カスタムホワイトバランスモードです。（**P.52** 参照）



ホワイトバランスには以下のモードがあります。

	モード	色温度	内　容
—	オート (初期設定)	—	カメラが自動的に最適なホワイトバランスを決定します。 通常はこのモードにセットしてください。
☀	晴れ	約 5400K	晴天の屋外で撮影するときに選択します。
日陰アイコン	日陰	約 8000K	晴天の屋外の日陰などで撮影するときに選択します。
くもりアイコン	くもり	約 6500K	曇天の屋外などで撮影するときに選択します。
白熱電球アイコン	白熱電球	約 3000K	白熱電球の照明下で撮影するときに選択します。
蛍光灯アイコン	蛍光灯	約 4100K	白色蛍光灯下で撮影するときに選択します。
⚡	フラッシュ	約 7000K	エレクトロニックフラッシュ EF-140 DG SA-STTL を使用して撮影するときに選択します。
カスタムアイコン	カスタム	—	実際に取り込んだ画像を基準とし、ホワイトバランスが設定されます。(**P.52**)

1

MENU/OK ボタンを押して「📷 **撮影設定**」メニューを開きます。

2

▲▼ボタンを押して「**ホワイトバランス**」を選択し、▶ボタンを押します。

3

▲▼ボタンを押して、希望のモードを選択します。

4

確定する場合は、▶ボタンか MENU/OK ボタンを、変更しない場合は、◀ボタンを押します。

- カスタム(カスタムアイコン) を選択した場合、MENU/OK ボタンを押すと前回取り込まれた設定値で撮影されます。▶ボタンを押すと基準画像の取り込み画面に移ります。

カスタムホワイトバランスの設定

カスタムホワイトバランスは、実際に取り込んだ画像を基準として、ホワイトバランスを設定する方法です。

1

MENU/OK ボタンを押して「 **撮影設定**」メニューを開きます。

2

▲▼ボタンを押して「**ホワイトバランス**」を選択し、▶ボタンを押します。

3

▲▼ボタンを押して、「**カスタム**」選択して ▶ボタンを押します。

4

実際に撮影を行いたい照明下で、 基準にしたい白い被写体（白い紙や、白い壁など）を画面中央に入れてシャッターボタンを押します。

5

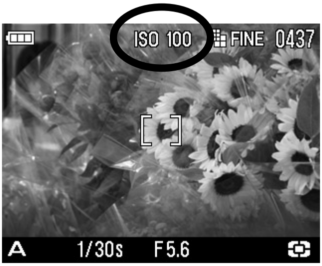
取り込みがうまくいった場合は「**ホワイトバランス画像の取り込みに成功しました。**」とメッセージが表示されます。

「**取り込みに失敗しました！・・・**」とメッセージが出た場合はもう一度、手順 **5** からやり直してください。
中止したい場合は ◀ボタンを押してください。

ご注意!!

- 「**ホワイトバランス画像の取り込みに成功しました。**」とメッセージが表示されたあとは、自動的にカスタムモードに設定されますので、そのまま本撮影をしてください。カスタムホワイトバランスモードを中止したい場合は他のモードに変更してください。

ISO 感度の設定



フイルムカメラで、用途に合わせて感度の違うフィルムを選ぶように、撮影時の感度を選択することができます。（ISO 感度 **P.103**）

1

MENU/OK ボタンを押して「 **撮影設定**」メニューを開きます。

2

▲▼ボタンを押して「**ISO 感度**」を選択し、▶ボタンを押します。

3

▲▼ボタンを押して、希望の **ISO** 感度を選択します。

4

確定する場合は、▶ボタンか MENU/OK ボタンを、変更しない場合は、◀ボタンを押します。

ご注意!!

- 「**オート**」を選択した場合、明るさによって ISO100 か 200 が自動選択されます。フラッシュ撮影の場合は ISO100、200、400 から自動選択されます。

画像の設定

記録画像は、使用目的によって、“画像サイズ”と“画質”を変更することができます。

		画像サイズ			
		HI 2640×1760	WIDE WIDE 2640×1485	MED 1872×1248	LOW 1312×880
画 質	RAW (RAW)	15.4MB			
	FINE (JPEG)	3.3MB	2.7MB	1.6MB	0.8MB
	NORM (JPEG)	1.9MB	1.6MB	0.9MB	0.5MB
	BASIC (JPEG)	1.4MB	1.2MB	0.7MB	0.3MB

＊ファイルサイズは被写体によって変化します。

画質について

DP1 は、付属ソフトによる現像が必要な **RAW** 形式と、汎用性の高い **JPEG** 形式のいずれかで画像を記録することができます。
RAW 形式は、カメラ内でデジタル的な処理は行わず、素材性を重視した記録方式です。付属ソフトによる現像作業が必要ですが、ソフトで汎用性の高い **JPEG** 形式や **TIFF** 形式に変換できます。

画像サイズの設定



1

MENU OK ボタンを押して「 **撮影設定**」メニューを開きます。

2

ボタンを押して「**画像サイズ**」を選択し、ボタンを押します。

3

ボタンを押して、希望の画像サイズを選択します。

4

確定する場合は、ボタンか MENU OK ボタンを、変更しない場合は、ボタンを押します。

画質の設定



1

MENU OK ボタンを押して「**撮影設定**」メニューを開きます。

2

▲▼ボタンを押して「**画質**」を選択し、▶ボタンを押します。

3

▲▼ボタンを押して、希望の画質を選択します。

4

確定する場合は、▶ボタンか MENU OK ボタンを、変更しない場合は、◀ボタンを押します。

ご注意 !!

- RAW モード時の画像サイズは **Hi** モードのみになります。（画像サイズのアイコンは表示されません。）
- 画質を RAW に設定すると、一時的に画像サイズの設定ができなくなります。画質を RAW 以外に設定すると、画像サイズの設定が可能となります。

画像パラメーターと色空間の設定

記録する画像のパラメーター（コントラスト、シャープネス、彩度）の調整と、色空間（カラースペース）の設定をすることができます。

コントラスト

+側にすると明暗差が強くなり、メリハリの効いた画像になります。–側にすると明暗差が弱くなり、白飛びや黒つぶれを少なくすることができます。

シャープネス

+側にすると輪郭のはっきりとした鮮明な画像になります。–側にすると輪郭のやわらかいソフトな画像になります。

彩度

+側にすると彩度が高くなり、色鮮やかな画像になります。–側にすると彩度が低くなり、落ち着いた画像になります。

カラースペース

一般的な色空間である sRGB か、主に商用印刷など業務分野で使われている Adobe RGB を選択することができます。

画像パラメーターの設定

1

MENU/OK ボタンを押して「 **撮影設定**」メニューを開きます。

2

▲▼ボタンを押して「**コントラスト**」、「**シャープネス**」、「**彩度**」のいずれかを選択し、▶ボタンを押します。

3

▲▼ボタンを押して、調整量をセットします。

4

確定する場合は、▶ボタンか MENU/OK ボタンを、変更しない場合は、◀ボタンを押します。



パラメーターを調整すると、画面左側に調整中のパラメーターアイコンが表示されます。

カラースペースの設定

1

MENU/OK ボタンを押して「 **撮影設定**」メニューを開きます。

2

▲▼ボタンを押して「**カラースペース**」を選択し、▶ボタンを押します。

3

▲▼ボタンを押して、希望のモードを設定します。

4

確定する場合は、▶ボタンか MENU/OK ボタンを、変更しない場合は、◀ボタンを押します。

JPEG データの場合、パラメーター調整が行われた後に圧縮処理されます。
RAW データの場合、画像には調整が行われずにパラメーター情報が記録されます。付属ソフトでデータを展開したときに反映され、ソフト上でも再調整を行うことができます。
通常、カラースペースは sRGB に設定してください。Adobe RGB に設定された画像を扱う場合は、必ず付属のソフトか、DCF2.0 に準拠したソフトを利用してください。

測光モードの変更



被写体の状況に合わせ、３つの測光方式を選べます。

1

MENU OK ボタンを押して「**撮影設定**」メニューを開きます。

2

ボタンを押して「**測光モード**」を選択し、ボタンを押します。

3

ボタンを押して、希望のモードを設定します。

4

確定する場合は、ボタンか MENU OK ボタンを、変更しない場合は、ボタンを押します。

- 画面右下に、設定された測光モードが表示されます。

評価測光

画面を 256 分割し、それぞれの部分の測光情報をもとにカメラが被写体の状況を判断して最適な露出を算出します。逆光や露出決定が難しい光線状態でも最適となる露出を判断します。（通常はこのモードにセットしてください。）

中央部重点（中央部重点平均測光）

画面中央部分にウエイトを置き、画面全体の平均的な明るさを算出します。順光などの比較的光線状態が良い場合に、最適な露出がえられます。

スポット（スポット測光）

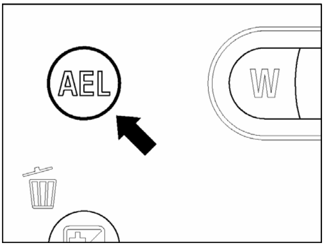
中央フォーカスフレームの範囲内の明るさのみを算出します。周辺の明るさに影響されず、被写体の特定のポイントに露出を定めたいときに有効です。

ご注意!!

- スポット測光で撮影された画像は、**SIGMA Photo Pro** の撮影情報ウインドウに「中央部分測光」と表記されます。

AE ロック

AEL ボタンを押すと、その時の露出が固定されます。画面中央部に写したい被写体が無い場合などに便利です。特に、スポット測光との組合わせで有効です。





1

露出を合わせたい部分を画面の中央部に合わせ**AEL** ボタンを押します。
（露出が固定され、画面中央上側に AEL アイコンが表示されます。）

2

好みの構図にしてシャッターを切ります。

メモ

- もう 1 度 **AEL** ボタンを押して AE ロックを解除するまで、何枚でも同じ露出で撮影できます。

メモ

- **AEL** ボタンは、通常の AF ロック機能のほかに、フォーカスロック機能を割り当てることができます。



中央 AFL

ボタンを押すと、中央のフォーカスフレームでピント合わせがスタートし、AF ロックされます。（露出はシャッターボタン半押し時に固定されます。）



AEL+中央 AFL

ボタンを押すと、中央のフォーカスフレームでピント合わせがスタートし、AF ロックと AE ロックが同時に行われます。

AEL ボタンの機能設定方法

1

MENU/OK ボタンを押します。

2

▶ボタンを押して「**カメラ設定**」メニューを開きます。

3

▲▼ボタンを押して「**AEL ボタン設定**」を選択し、▶ボタンを押します。

4

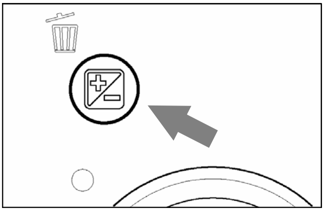
▲▼ボタンを押して、希望のモードを選択します。

5

確定する場合は、▶ボタンか MENU/OK ボタンを、変更しない場合は、◀ボタンを押します。

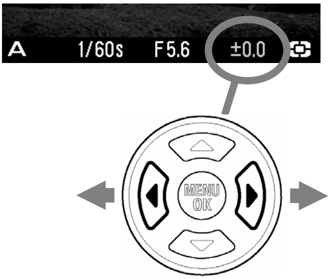
露出補正

カメラが判断した適正露出に対し、意図的に明るめにしたり、暗めにしたい場合、この機能を使います。



1

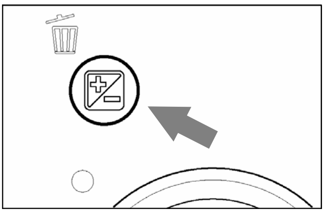
ボタンを押します。（画面右下に補正量表示が緑色で表示されます。）



2

◀▶ボタンで補正量をセットします。

- 補正量は 1／3 段ピッチで、±3 段までできます。



3

再度 ボタンを押して確定します。（補正値の数字が緑色から白色に変わります）

（シャッターボタンを半押ししても確定されます。）

ご注意!!

- 露出補正は自動的に解除されません。撮影が完了したら ボタンを押して、補正量のセットが可能な状態（補正値の数字が緑色の状態）にして、補正量を±0.0 に戻してください。
- 露出補正は **M** モードとの併用はできません。

オートブラケット機能

カメラが判断した適正露出をはさんで、明るめと暗めに露出をずらした写真を連続で撮ることができます。



1

MENU OK ボタンを押して「**撮影設定**」メニューを開きます。

2

▲▼ボタンを押して「**オートブラケット**」を選択し、▶ボタンを押します。

3

▲▼ボタンを押して、ずらし量をセットします。（ずらし量は、1／3 段ピッチで±3 段まで設定できます。）

4

確定する場合は、▶ボタンか MENU OK ボタンを、変更しない場合は、◀ボタンを押します。



■適正、アンダー、オーバーの順序で撮影されます。

■各モードでの補正は以下のように行われます。

- **P**　シャッターと絞りが共に変化します。
- **A**　シャッター速度が変化します。
- **S**　絞りが変化します。
- **M**　設定したシャッター速度を中心としてシャッター速度が変化します。

メモ

- シャッターボタンを押すと、3 コマ連続して撮影されます。ドライブモードがセルフタイマーに設定されている場合は、設定秒数後に 3 コマ連続撮影されます。
- 「**カメラ設定**」メニューの「**撮影画像確認**」が 「**切**」以外に設定されていると、3 コマ撮影後、3 コマ確認表示となり、露出の変化が一目でわかります。

ご注意!!

- オートブラケット機能は自動的に解除されません。撮影が完了したら同じ手順でずらし量を±0 に戻すか、電源を OFF にしてください。
- オートブラケット機能はフラッシュ撮影と併用できません。フラッシュをポップアップすると、オートブラケットの設定が解除されます。

■オートブラケットアイコンが以下のように変化し、何コマ目の撮影かがわかります。

1 コマ目	2 コマ目	3 コマ目
		

オートブラケットは露出補正と組み合わせて使用できます。

カメラが判断した適性露出に対して、明るめや暗めな露出を基準にしたオートブラケット撮影ができます。前記の手順に従って、露出補正とオートブラケットの両方の設定を行ってください。どちらを先にセットしても結構です。

例えば、露出補正量＋1.7、オートブラケットのずらし量を 1.0 とセットした場合の動作は以下のようになります。

1 コマ目	+1.7　露出補正量＋1.7、ずらし量なし
2 コマ目	+0.7　露出補正量＋1.7 と、ずらし量－1.0 の合成値
3 コマ目	+2.7　露出補正量＋1.7 と、ずらし量＋1.0 の合成値

色モード

DP1 は通常の色調のほかに、セピア調、モノクローム調の写真を撮ることができます。

1

MENU OK ボタンを押して「 **撮影設定**」メニューを開きます。

2

ボタンを押して「**色モード**」を選択し、ボタンを押します。

3

ボタンを押して、希望のモードを設定します。

4

確定する場合は、ボタンか MENU OK ボタンを、変更しない場合は、ボタンを押します。



- 画面上に、設定された色モードのアイコンが表示されます。通常モードではアイコンは表示されません。

モード	アイコン
通常	
セピア	**SEPIA**
白黒	**B/W**

ご注意 !!

- 色モードは、撮影後も解除されずに繰り返し行われます。ご使用後は上記手順で 「通常」に戻してください。
- 色モードは、画質が RAW のときは使用できません。
- 画質を RAW に設定すると、色モードは一時的に通常モードになります。画質を RAW 以外に設定すると、色モードの設定が反映されます。

デジタルズーム

DP1 はデジタル処理による拡大ズーム撮影ができます。

デジタルズームの設定

1

MENU OK ボタンを押して「**撮影設定**」メニューを開きます。

2

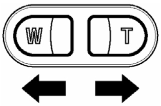
▲▼ボタンを押して「**デジタルズーム**」を選択し、▶ボタンを押します。

3

▲▼ボタンを押して、「**ON**」を選択します。

4

確定する場合は、▶ボタンか MENU OK ボタンを、変更しない場合は、◀ボタンを押します。



ズーム操作は、Tボタンを押すと拡大、Wボタンを押すともとの大きさに戻ります。

メ モ

- デジタルズームは８段階で３倍まで拡大できます。
- 静止画撮影モード、動画撮影モードで使用できます。
- 動画撮影モードでは、撮影中でも拡大・縮小ができます。

ご注意 !!

- デジタルズーム機能を解除するには、上記手順で「OFF」に設定してください。
- デジタルズームは、画質が RAW のときは使用できません。
- MF モード設定時は、デジタルズームが使用できません。
- 画質を RAW に設定すると、デジタルズームは一時的に OFF になります。画質を RAW 以外に設定すると、デジタルズームが使用できるようになります。
- デジタルによる拡大処理を行いますので、拡大率が高くなるほど画質が悪くなります。
- デジタルズーム使用時は拡大率が高くなりますので、手ぶれに十分注意して撮影してください。

音声付静止画

撮影の直後に、約 10 秒間の音声を記録することができます。撮影時の状況などをメモ代わりに声で記録するなど、非常に便利な機能です。

音声付静止画の設定

1

MENU OK ボタンを押して「**撮影設定**」メニューを開きます。

2

ボタンを押して「**音声付静止画**」を選択し、ボタンを押します。

3

ボタンを押して、「**ON**」を選択します。

4

確定する場合は、ボタンか MENU OK ボタンを、変更しない場合は、ボタンを押します。画面左側に アイコンが点灯します。



シャッターボタンを押して、カメラ内での画像処理（数秒掛かる場合があります）の後に音声の記録がスタートします。（記録中は画面の アイコンとアクセスランプが点滅し、画面右上のカウンターがカウントダウンされます）

10 秒経過すると、自動的に録音が停止します。途中で録音を停止させたい場合は、再度シャッターボタンを押してください。

音声付静止画の再生に関しては、**P.74**「音声付画像を再生する」をご覧ください。

ご注意 !!

- 音声付静止画機能は、撮影後も解除されずに繰り返し行われます。機能を解除するには、上記手順で「**OFF**」に設定してください。

メモ

- 画像に付けられた音声は、WAV 形式で記録されます。画像が記録されるフォルダに、画像と同じファイル番号の別ファイルとして保存されます。例えば、ファイル番号 SDIM0010.JPG に付けられた音声は SDIM0010.WAV となります。

外部フラッシュ撮影について

DP1 は外部フラッシュを取り付けることができるホットシューを備えており、自動調光撮影ができる専用小型フラッシュが用意されています。内蔵フラッシュよりもより遠くまで光が届き、レンズフード使用時もフラッシュ光のケラレが生じません。

エレクトロニックフラッシュ EF-140 DG SA-STTL（別売）

○ 最大ガイドナンバー14（ISO100）内蔵フラッシュの約 2.3 倍の到達距離の光量が得られます。
○ S-TTL 方式方式による自動調光撮影が可能です。
○ 単 4 形ニッケル水素電池（推奨）を 2 本使用。DP1 とベストマッチの小型軽量設計です。
○ 自動調光撮影に加え、マニュアル発光も可能です。
○ シグマデジタル一眼レフカメラ **SD14** にもご使用になれます。S-TTL 方式による自動調光撮影が可能です。

撮影画像の再生、消去

ここでは、撮影した画像の再生や消去の仕方について説明します。

メ モ

- 他のカメラで撮影した画像や、ファイル名を変更したり、カード内の DCIM フォルダから移動させた画像ファイルは、表示できない場合があります。

撮影画像確認

DP1 では、撮影後すぐに液晶モニタに画像を自動的に表示させることができます。この機能は、露出や構図を即座にチェックするのに役立ちます。

撮影画像確認時間の設定

撮影直後の画像を液晶モニタに表示させる時間を設定します。設定の変更は「**カメラ設定**」メニューで行います。

撮影画像確認時間設定項目

設定項目	設定内容
2 秒（初期設定）	2 秒間表示します。
5 秒	5 秒間表示します。
10 秒	10 秒間表示します。
切	表示しません

1

MENU/OK ボタンを押します。

2

▶ボタンを押して「**🔧カメラ設定**」メニューを開きます。

3

▲▼ボタンを押して「**撮影画像確認**」を選択し、▶ボタンを押します。

4

▲▼ボタンを押して、表示させたい秒数を選択します。

5

確定する場合は、▶ボタンか MENU/OK ボタンを、変更しない場合は、◀ボタンを押します。

メモ

- 手動で撮影画像確認画面の表示を消す場合は、シャッターボタンを半押ししてください。

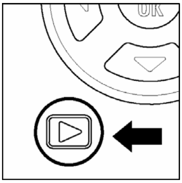
ご注意 !!

- 撮影画像確認画面では、拡大表示、他の画像への切りかえはできません。

撮影画像の再生

DP1 で撮影した画像を様々な方法で再生することができます。

DP1 で撮影した画像を再生するには、本体背面の ▶ ボタンを押します。カードに最後に記録された画像が、液晶モニタに表示されます。



▶ ボタンを押すと、画像が再生されます。

再度 ▶ ボタンを押すと撮影状態に切り替わります。

メ モ

- 電源 OFF の状態でも、約 2 秒間 ▶ ボタンを押し続けると電源が入り、画像が再生されます。
- 撮影画像を再生してから新たに撮影した画像がない場合は、最後に再生した画像が表示されます。
- カードに画像がない場合は、"**画像がありません**" と警告表示されます。
- 画像の再生中でも、▶ ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影を始めることができます。

1 画像再生

記録された画像を見るには、本体背面の ▶ ボタンを押します。

1 画像再生中は：

- ▶ボタンを押すと、次の画像を表示します。
- ◀ボタンを押すと、前の画像を表示します。

電池残量表示　**画像サイズ**　**画質**　**フォルダ番号／ファイル番号**



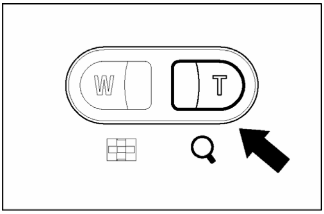
ファイル順／ファイル数　**年／月／日**　**時／分／秒**

メモ

- 十字コントローラーを押したままにすると、より速く画像を切り替えることができます。画像の切替えは、ボタンを離すまで自動的に行われます。
- 最初と最後の画像はリンクしています。最初の画像で ◀ボタンを押すと最後の画像が表示されます。また、最後の画像で ▶ボタンを押すと最初の画像が表示されます。

拡大して表示する（拡大表示）

画像を拡大表示することができます。画像を詳細に見たり、ピントのチェックに便利です。



1 画像再生中に Ⓣ ボタンを押します。

拡大率は以下の通りです。
等倍→**X1.25**→**X1.6**→**X2.0**→**X2.5**→**X3.15**→**X4.0**→**X5.0**→**X6.3**→**X8.0**→**X10.0**

拡大表示中は：

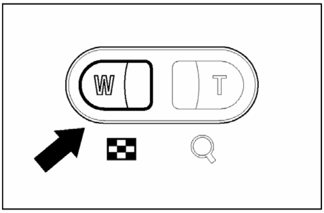
- Ⓣ ボタンを押すとより拡大されます。
- Ⓦ ボタンを押すと縮小されます。
- 十字コントローラーの ▲▼ で上下方向に、◀▶ で左右方向に再生部分を移動できます。
- MENU/OK ボタンを押すと等倍に戻ります。

メ　モ

- 拡大表示中は十字コントローラーで画像を切替えることはできません。Ⓦ ボタンを押す、もしくはMENU/OK ボタンを押して等倍（1 画像再生）に戻ると、十字コントローラーによる画像の切替えができるようになります。

9 画像表示（コンタクトシート表示）

9 画面表示の「コンタクトシート」では、複数の画像を一度に表示することができます。



1 画像再生中に Ⓦ ボタンを押します。

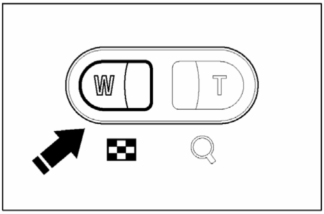


コンタクトシート表示では：

- ◀▲▼▶ボタンで画像の選択切替えができます。
- Ⓣ ボタンを押すと、1 画像再生に戻ります。
- Ⓦ ボタン押すとジャンプモードになります。

1 度に 1 ページ表示する（ジャンプモード）

より速く画像をまとめて見たり、最初あるいは最後のページに一気にスキップするときにジャンプモードを使用します。



1 画像再生で Ⓦ ボタンを 2 回（コンタクトシート表示からは 1 回）押します。



ジャンプモードでは：

- ▼ボタンを押すと、次のページを表示します。
- ▲ボタンを押すと、前のページを表示します。
- ▶ボタンを押すと、最後のページを表示します。
- ◀ボタンを押すと、最初のページを表示します。
- Ⓣボタンを押すと、コンタクトシート表示に戻ります。

メモ

- 最初と最後の画像はリンクしています。最初の 9 画像のページで ▲ボタンを押すと、最後のページが表示されます。最後のページで ▼ボタンを押すと、最初のページが表示されます。

音声付画像を再生する

音声付静止画（**P.65**）、音声メモ機能（**P.89**）によって画像に付けられた音声を再生します。



1

1画像再生時に音声の付いた画像が選択されると、画面の左端に🎙アイコンと、画面に右端に操作ガイドアイコンが表示されます。

2

▼ボタンを押すと、音声が再生されます。
▲ボタンを押すと、音声が停止します。

ご注意 !!

- 拡大表示、コンタクトシート表示、ジャンプモード表示時は、音声の再生ができません。

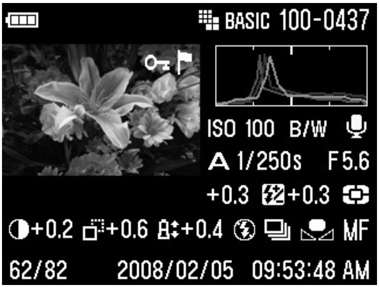
メモ

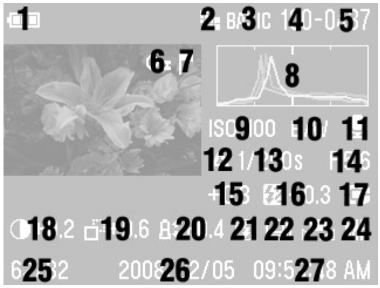
- カメラ設定メニューにより設定されたスピーカー音の音量で再生されますが、音声の再生中にダイレクトでスピーカー音の調整ができます。Ⓦボタンを押すと音量が小さくなり、Ⓣボタンを音量が大きくなります。
- 画像に付けられた音声は、画像と同じファイル番号の WAV 形式ファイルとして保存されています。例えば、ファイル番号 SDIM0010.JPG に付けられた音声は SDIM0010.WAV となります。パソコンに移したファイルを再生する場合は、画像と音声を関連付けた再生はできません。音声は WAV ファイルの再生が可能なソフトで再生してください。

画像情報を見る

撮影された画像の詳細情報を見ることができます。シャッター速度や絞り値以外に、測光モードやフォーカスモードなど、詳細な情報が表示されます。

1 画像再生中に ボタンを２回押します。





1	電池残量表示
2	画像サイズ
3	画質
4	フォルダ番号
5	ファイル番号
6	ロック ※
7	マーク ※
8	ヒストグラム
9	ISO 感度
10	色モード ※
11	音声メモ ※
12	露出モード
13	シャッター速度
14	絞り値

15	露出補正値 ※
16	調光補正値 ※
17	測光モード
18	コントラスト ※
19	シャープネス ※
20	彩度 *
21	フラッシュモード ※
22	ドライブモード ※
23	ホワイトバランス ※
24	フォーカスモード
25	ファイル順 / ファイル数
26	年月日
27	時分秒

※設定時のみ表示されます。

画像情報スクリーンでは：

- 再度 [INFO] ボタンを押すと、通常の１画像再生表示に戻ります。
- １画像再生と同様に、◀▶ボタンで画像の切替えができます。

ご注意 !!

- 拡大表示中は、画像の切り換えができません。MENU/OK ボタンを押すか、Ⓦボタンで等倍に戻すと切り替えができます。

拡大表示での画像情報画面

拡大表示で画像情報画面にすると、画像の特定領域の詳細なヒストグラム情報を見ることができます。

- ヒストグラムについての詳細は次の項目をご覧ください。

1

画像を任意の倍率にし、調べたい領域を表示させます。（**P.71** 参照）

2

[INFO] ボタンを押します。

拡大された部分の画像が小さく表示され、その部分のみのヒストグラム値が表示されます。

拡大表示での画像情報画面では：

- 十字コントローラーの ▲▼ で上下方向に、◀▶ で左右方向に再生部分を移動できます。（ヒストグラム値が自動的に変わります。）
- Ⓦボタンで縮小、Ⓣボタンで拡大ができます。
- MENU/OK ボタンを押すと拡大表示が解除され、通常の画像情報表示に戻ります。

（再度 [INFO] ボタンを押すと画像情報が消え、通常の１画像再生表示に戻ります。）

- [INFO] ボタンを押すと画像情報が消え、通常の拡大表示に戻ります。

ヒストグラム

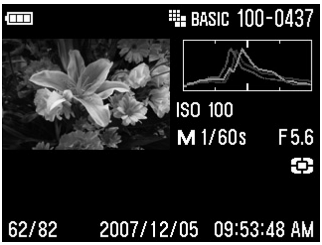
ヒストグラムは、画像の明るさの分布をグラフ表示にしたものです。水平軸は明るさのレベルを示し、左方向ほど暗く、右方向ほど明るくなります。垂直軸は各明るさの画素の登場回数を表しています。グラフの分布状態を見ることにより、露出の判断の参考にすることができます。

DP1 のヒストグラム表示は、R（赤）G（緑）B（青）それぞれのレベルを同時に表示するしくみになっています。

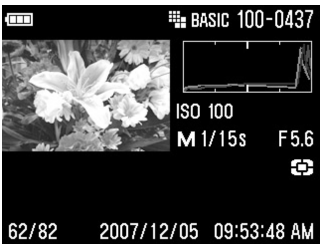
フル画像時のヒストグラムを調べることによって、画像全体の露出を判断することができます。また、拡大表示でのヒストグラムを見ることにより、任意の部分の露出を判断することもできます。



このヒストグラムは、画素の分布が暗い方向にかたより、明るい方向に殆ど存在していません。従って露出不足で全体に暗めの画像であることを示しています。一般に左側にかたよっているヒストグラムは、上記のように露出が不足している場合か、もしくは適正露出でも、暗い部分や暗めの被写体が画面に占める割合が大きく、暗い画素で構成された画像の場合です。



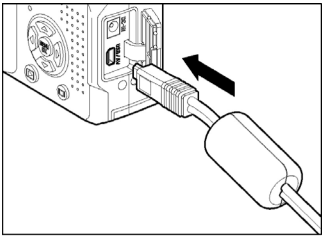
このヒストグラムは、ほぼ均一に画素が分布されており、適正に露出された画像であることを示しています。ただしヒストグラムは、被写体の色や画面に占める割合などによって大きく左右されますので、一概に適正露出であるとは限りません。

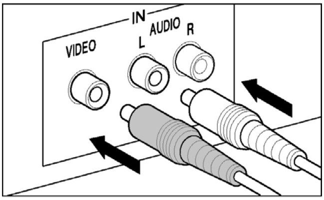


このヒストグラムは、画素の分布が明るい方向にかたより、右端に多くの画素が存在しています。従って露出オーバーで全体に明るめ画像であることを示しています。一般に、右側にかたよっているヒストグラムは、上記のように露出がオーバーしている場合か、もしくは適正露出でも明るい部分や明るめの被写体が画面に占める割合が大きく、明るい画素で構成された画像の場合です。

テレビで見る

DP1 では、付属の AV ケーブルを使用してテレビやビデオデッキに接続し、記録した画像をテレビで見たり、ビデオに録画することができます。





ビデオ機器との接続

1

カメラのコネクターカバーを開きます。

2

AV ケーブルをカメラの＜**USB / AV**＞端子に接続します。

3

AV ケーブルの黄色のジャックをテレビの映像端子に、白のジャックを音声端子に接続します。

4

カメラとビデオ機器の電源を入れます。

警 告 !!

- ビデオ機器との接続には、付属の専用ビデオケーブル以外は使用しないでください。他のケーブルを使用すると、故障の原因になることがあります。

メ モ

- 電池の消耗を防ぐため、別売りの AC アダプターを使用することをお薦めします。
- ビデオ出力のモードは、初期設定では NTSC 方式になっています。PAL 方式の機器に接続する場合は、セットアップメニューでビデオ出力のモードを PAL 方式に変更してお使いください。（**P.103, 104** 参照）

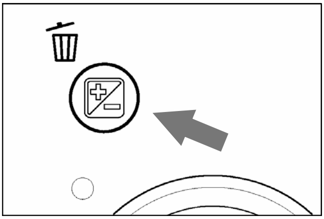
ファイルの消去

カードに記録されたファイルを消去する方法を説明します。

カードに記録されたファイルを、消去メニューで 1 ファイルずつあるいは複数まとめて消去することができます。

ご注意 !!

- この章では、カードに記録された画像、動画、音声を「ファイル」と表しています。
- ジャンプモード表示時は、ファイルの消去ができません。



消去メニューの開き方

画像表示中に 🗑 ボタンを押します。

- 取り消す場合は、再度 🗑 ボタンを押すか、▼ボタンで「**キャンセル**」を選択して MENU OK を押します。

消去メニュー

メニュー項目	設定内容
ファイルの消去	現在選択されている画像のみ消去します。
マークしたファイルをすべて消去	カード内に記録されたマークしたファイルをすべて消去します。（ファイルのマークについては **P.82 - 84** をご覧ください。）
すべて消去	カードに記録されたすべてのファイル画像を消去します。（ロックされたファイルは消去されません。ファイルのロックについては **P.82 - 84** をご覧ください。）
キャンセル	消去メニューを閉じます

ひとつのファイルを消去する

1

コンタクトシート表示か 1 画像再生で、消去するファイルを十字コントローラーの ◀▲▼▶ で選択します。

2

🗑ボタンを押して消去メニューを開きます。

- 初期設定では「**ファイルの消去**」が選択されています。

3

MENU/OK ボタンを押して消去します。

ご注意 !!

- ファイルがロックされていない場合は、確認なしに消去します。
- ファイルがロックされている場合は、本当に消去して良いか確認メッセージが表示されます。消去してもよい場合は ▼ボタンを押して「**はい**」を選んで MENU/OK ボタンを押してください。、消去しない場合は「**いいえ**」を選択し、MENU/OK ボタンを押して消去を中止してください。

複数のファイルを消去する

1

🗑ボタンを押して消去メニューを開きます。

2

⬍ボタンで「**マークファイルをすべて消去**」あるいは「**すべて消去**」を選択します。

- ロックされた画像は、消去されずに残ります。ロックされた画像を消去するには、初めにロックを解除してください（**P.82 - 84** 参照）。
- マークされた画像がない場合は、「**マーク画像をすべて消去**」は選択できません。

3

MENU/OK ボタンを押すと、確認メッセージが表示されます。

4

すべてのファイルを消去する場合は▼ボタンを押して「**はい**」を選んでMENU/OKボタンを押してください。

消去しない場合は「**いいえ**」のままMENU/OK ボタンを押して消去を中止してください。

メモ

- ロックとマークがかけられた画像は、「**マークファイルをすべて消去**」では消去できません。ロックされた画像は初めにロックを解除してください。マークされた画像はロックされない限り消去から保護されません。

再生時のその他の機能

スライドショー、ロック、マーク、回転などの機能を説明します。

ファイルをロックする

ロックは、誤ってファイルを消去することを防ぎます。

ロック設定メニュー

メニュー項目	設定内容
ロックしない	現在選択されているファイルのロックを解除します。
ロック	現在選択されているファイルのロックをします。
マーク画像をすべてロック	マークされたファイルをすべてロックします。 （画像のマークは **P.85 -87** をご覧ください。）
すべてロック	すべてのファイルをロックします。
すべてロック解除	すべてのファイルのロックを解除します。

ご注意 !!

- ジャンプモード表示時は、ファイルのロックができません。

警 告!!

- ロックされたファイルも、カードの初期化を行うと全てのファイルが消去されます。カードの初期化を行うときは十分注意してください。

メ モ

- ロックされたファイルは、パソコンでは「読み取り専用」と表示されます。

ひとつのファイルのロック

1

コンタクトシート表示や 1 画像再生のとき、十字コントローラーの ◀▲▼▶ でロックするファイルを選択します。

2

MENU/OK ボタンを押して「▶ **再生設定**」メニューを開きます。

3

▲▼ ボタンを押して「**ロック**」を選択し、▶ボタンを押します。

4

▲▼ ボタンを押して、「**ロック**」を選択します。

5

確定する場合は、▶ボタンか MENU/OK ボタンを、変更しない場合は、◀ボタンを押します。

画像の右端に 🔑 マークが表示されます



ひとつのファイルのロック解除

ロックを解除するには、ロックされた画像を選択し、手順 **4** で「**ロックしない**」を選択して MENU/OK ボタンを押してください。

複数ファイルのロック

1

MENU/OK ボタンを押して「▶ **再生設定**」メニューを開きます。

2

▲▼ ボタンを押して「**ロック**」を選択し、▶ボタンを押します。

3

▲▼ ボタンを押して、「**マーク画像をすべてロック**」か「**すべてロック**」を選択して、▶ボタンを押します。

4

確定する場合は、▼ボタンを押して「**はい**」を選択し、 MENU/OK ボタンを押して確定します。

すべての画像の右端に 🔑 マークが表示されます。

ロックを中止したい場合は「**いいえ**」を選択し、MENU/OK ボタンを押します。

全てのファイルのロック解除

すべての画像のロックを解除するには：

1

上記手順 **3** で「**すべてロック解除**」を選択して、▶ボタンを押します。

2

▼ボタンを押して「**はい**」を選択し MENU/OK ボタンを押して確定します。

ロック解除を中止したい場合は「**いいえ**」を選択し、MENU/OK ボタンを押します。

画像をマークする

画像をマークすると、お気に入りの画像の区分け、スライドショー用の画像の選別、デリートメニューの「マークしたファイルをすべて消去」（**P.81**）で消去する等、画像の選別に便利です。

画像マーク設定メニュー

メニュー項目	設定内容
マーク解除	現在選択されている画像がマークされている場合、マークの解除を行います。
マーク	現在選択されている画像をマークします。
全画像マーク	すべての画像をマークします。（既にマークされている場合は、選択できません。）
全画像マーク解除	すべてのマークされた画像をマーク解除します。

ご注意 !!

- 音声メモと動画は、マークすることができません。
- ジャンプモード表示時は、ファイルのマークができません。

メモ

- カメラでマークした画像は、**SIGMA Photo Pro** でもマーク状態と表示されます。

ひとつの画像のマーク

1

コンタクトシート表示や 1 画像再生のとき、十字コントローラーの ◀▲▼▶ でマークしたい画像を選択します。

2

MENU/OK ボタンを押して「▶ **再生設定**」メニューを開きます。

3

▲▼ ボタンを押して「**マーク**」を選択し、▶ボタンを押します。

4

▲▼ ボタンを押して、「**マーク**」を選択します。

5

確定する場合は、▶ボタンか MENU/OK ボタンを、変更しない場合は、◀ボタンを押します。

画像の右端に 🏳 マークが表示されます。



ひとつの画像のマーク解除

マークを解除するには、マークされた画像を選択し、手順 **4** で「**マークしない**」を選択して MENU/OK ボタンを押してください。

すべての画像のマーク

1

MENU OK ボタンを押して「▶ **再生設定**」メニューを開きます。

2

▲▼ボタンを押して「**マーク**」を選択し、▶ボタンを押します。

3

▲▼ボタンを押して、「**全画像マーク**」を選択して、▶ボタンを押します。

4

確定する場合は、▼ボタンを押して「**はい**」を選択し、 MENU OK ボタンを押して確定します。

すべての画像の右端に マークが表示されます。

マークを中止したい場合は「**いいえ**」を選択し、MENU OK ボタンを押します。

全ての画像のマーク解除

すべての画像のマークを解除するには：

1

上記手順 **3** で「**全画像マーク解除**」を選択して、▶ボタンを押します。

2

▼ボタンを押して「**はい**」を選択し MENU OK ボタンを押して確定します。

マーク解除を中止したい場合は、「**いいえ**」を選択し、MENU OK ボタンを押します。

画像を回転する

ポートレートなど縦方向で撮った画像を、液晶モニタやテレビで見やすいように回転させることができます。向きを変えた画像は、スライドショーのほかにもすべての再生モードで変更されています。

メ モ

- 画像を回転させると画面の表示は小さくなりますが、画像データのクオリティは変わりません。
- カメラで回転させた画像は、**SIGMA Photo Pro** でも同じ向きで表示されます。
- 動画は回転できません。

画像回転設定メニュー

メニュー項目	設定内容
回転 ↱	現在選択されている画像を右回り（時計方向）に 90 度回転します。
回転 ↰	現在選択されている画像を左回り（反時計方向）に 90 度回転します。

1

コンタクトシート表示や 1 画像再生のとき、◀▲▼▶ボタンで回転させる画像を選択します。

2

MENU OK ボタンを押して「▶ **再生設定**」メニューを開きます。

3

▲▼ボタンを押して「**回転**」を選択し、▶ボタンを押します。

4

▲▼ボタンを押して、時計回り「**回転 ↱**」あるいは反時計回り「**回転 ↰**」を選択します。



5

確定する場合は、▶ボタンか MENU OK ボタンを、変更しない場合は、◀ボタンを押します。

メ モ

- 180 度回転する場合は同じ方向に 2 回、回転させます。
- 元に戻すには、反対方向に回転させます。
- ジャンプモードからは画像回転メニューは選択できません。

画像に音声メモを付ける

撮影済の画像に、10 秒間の音声のメモを付けることができます。撮影時の状況などをメモ代わりに声で記録するなど、非常に便利な機能です。

1

MENU OK ボタンを押して「▶ **再生設定**」メニューを開きます。

2

▲▼ボタンを押して「**音声メモ**」を選択し、▶ボタンを押します。

3

▲▼ボタンを押して、「**記録する」** を選択します。



4

確定する場合は、▶ボタンか MENU OK ボタンを、変更しない場合は、◀ボタンを押します。画面左側に 🎙 アイコンが点灯し、画面に右端に操作ガイドアイコンが表示されます。

5

▲ボタンを押すと、録音が開始します。（10 秒経過すると録音が停止します。）

録音中に ▲ボタンを押すと録音を中止します。



録音された音声は、▼ボタンを押すと再生されます。（音声付画像の再生の詳細は、**P.74**「音声付画像を再生する」をご覧ください。

ご注意 !!

- 音声メモ機能は、録音後も解除されずに繰り返し行われます。すでに音声の付けられた画像の表示中に ▲ボタンを押すと、録音が開始し音声が上書きされます。誤って上書きしないように、ご使用後は上記手順で「**記録しない**」に設定してください。

メモ

- 画像に付けられる音声は、WAV 形式で記録されます。画像が記録されるフォルダに、画像と同じファイル番号の別ファイルとして保存されます。例えば、ファイル番号 SDIM0010.JPG に付けられた音声は SDIM0010.WAV となります。

スライドショーを見る

すべての画像あるいは選択した画像のみを自動再生します。

スライドショーメニュー

メニュー項目		設定内容
全画像		すべての画像を再生します。
ロックのみ		ロックされた画像のみ再生します。
マークのみ		マークされた画像のみ再生します。
表示間隔	**2 秒** **5 秒** **10 秒**	画像が表示される時間を設定します。
繰り返し	**いいえ** **はい**	スライドショーを繰り返すか、自動終了するかを設定します。

ご注意 !!

- 動画、音声は再生されません。（動画は最初の１コマのみ表示されます。）

スライドショーの見方

1

MENU/OK ボタンを押して「▶ **再生設定**」メニューを開きます。

2

⇕ ボタンを押して「**スライドショー**」を選択し、▶ボタンを押します。

3

⇕ ボタンを押して、「**全画像**」、「**ロックのみ**」、「**マークのみ**」、のいずれかを選択します。

4

MENU/OK ボタンか ▶ボタンを押すとスライドショーが始まります。

スライドショーを停止したい場合は、MENU OK ボタンを押します。その後、◀ボタンを押してスライドショーメニューを閉じます

ご注意 !!

- マークされた画像がない場合は「**マークのみ**」を選択できません。ロックされた画像がない場合は「**ロックのみ**」を選択できません。

メモ

- スライドショーを停止すると、停止時点に表示されている画像が継続表示されます。

スライドショーの設定を変更する

表示間隔

1

スライドメニュー表示中に、▲▼ボタンを押して「**表示間隔**」を選択します。

2

▶ボタンを押して、表示したい秒数を選択します。

繰り返し

1

スライドメニュー表示中に、▲▼ボタンを押して「**繰り返し**」を選択します。

2

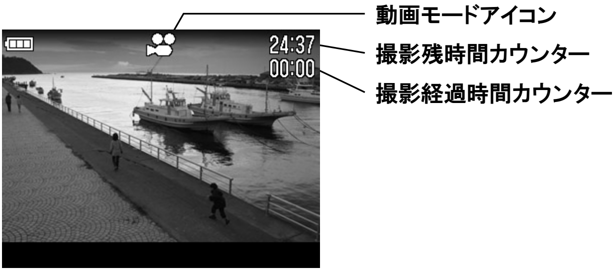
▶ボタンを押して、「**いいえ**」か「**はい**」を選択します。

動画を撮る・観る

動画を撮影する

DP1 は音声付動画を撮影できます。

- 画像サイズは、QVGA (320×240) サイズ (映像範囲は 320×212 で、上下に黒い帯が記録されています) となります。
- １秒間に撮影されるフレーム数 (フレームレート) は、30 フレームです。
- 動画のファイルは、AVI 形式で記録されます。 (記録される動画のファイル名は、例えば、ファイル番号 0023 の場合、SDIM0023.AVI となります。)



1

モードダイヤルを にします。（画面上端に アイコンが点灯します。）

2

シャッターボタンを押すと動画の撮影が開始されます。（撮影中は アイコンとアクセスランプが点滅します。）

3

撮影を停止するには、再度シャッターボタンを押します。

● ピントはパンフォーカス（固定式）となります。
● 被写体までの距離が 30cm~50cm の場合は、**FOCUS** ボタンを押して、近距離モードに設定してください。(画面左側に 🌷 アイコンが点灯します)
● デジタルズームが使用できます。 (**P.64**)
● ホワイトバランスの設定を変更できます。 (**P.50 - 52**)

撮影可能時間はおおよそ以下のようになります。

512MB	1GB	2GB	4GB
15 分	30 分	60 分	120 分

ご注意 !!

● 動画撮影中に操作音が記録されることがあります。
● 撮影可能時間は、ご使用のカードにより異なります。また撮影可能時間内でも、ご使用のカードによっては、途中で撮影を終了する場合があります。
● 容量が 2GB 以上のカードを使用した場合でも、1 回の撮影で 2GB のデータ容量に達すると撮影が終了します。
● カードの容量が十分でも、電池の容量がなくなると撮影が終了します。
● 撮影残時間表示は、撮影中にカード容量から再計算されるため、一定に変化しない場合があります。
● 撮影残時間表示は、最大 99 分 59 秒まで表示できます。容量の大きなカードをご使用の場合、しばらく 99:59 からカウンターが動かないことがありますが、撮影残時間が 99 分 59 秒以下になるとカウンターが動きだします。
● 動画モードでのカスタムホワイトバランスの取り込みはできません。静止画モードで取り込まれた基準値が適用されます。

動画を再生する

動画を再生するには、次のように操作します。

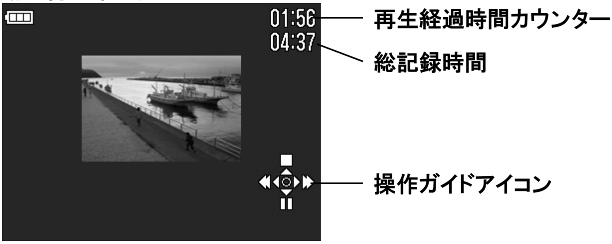
1

再生時に動画が選択されると、最初の 1 フレームが静止画像で表示されます。（画面の上端に 🎥 アイコンと、画面の右端に操作ガイドアイコンが表示されます。）

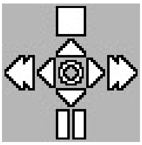
2

▼ボタンを押すと動画が再生されます。

動画再生中画面

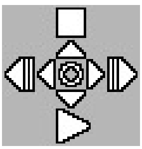


動画再生中は・・・



▲ボタンを押すと停止します。
▼ボタンを押すと一時停止します。
▶ボタンを押し続けている間、早送り再生します。
◀ボタンを押し続けている間、逆早送り再生します。

一時停止中は・・・



▲ボタンを押すと停止します。
▼ボタンを押すと再生します。
▶ボタンを押すとコマ送り再生します。押し続けている間、スロー再生します。
◀ボタンを押すと逆コマ送り再生します。押し続けている間、逆スロー再生します。

メモ

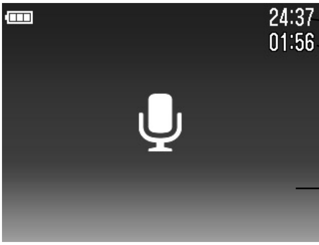
- 音声はカメラ設定メニューにより設定されたスピーカー音の音量で再生されますが、音声の再生中にダイレクトでスピーカー音の調整ができます。Ⓦボタンを押すと音量が小さくなり、Ⓣボタンを音量が大きくなります。
- パソコンに移したファイルを再生する場合は、AVI ファイルの再生が可能なソフトで再生してください。

音声を録る･聴く

録音する（ボイスレコードモード）

DP1 は音声のみを録音する機能があります。

- 音声のファイルは、WAV 形式で記録されます。 (記録される音声のファイル名は、例えば、ファイル番号 0023 の場合、SDIM0023.WAV となります。)



録音残時間カウンター
録音経過時間カウンター
ボイスレコード画面

1

モードダイヤルを にします。（ボイスレコード画面が表示されます。）

2

シャッターボタンを押すと録音が開始します。（録音中はアクセスランプが点滅します。）

3

録音を停止するには、再度シャッターボタンを押します。

ご注意 !!

- 録音可能時間は、ご使用のカードにより異なります。
- 録音残時間表示は、撮影中にカード容量から再計算されるため、一定に変化しない場合があります。

録音可能時間はおおよそ以下のようになります。

512MB	1GB	2GB	4GB
178 分	356 分	712 分	1424 分

音声を再生する

ボイスレコードモードで録音した音声ファイルを再生するには、次のように操作します。

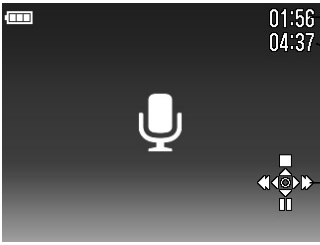
1

再生時に音声が選択されると、ボイスレコード画面が表示されます。（画面の右端には操作ガイドアイコンが表示されます。）

2

▼ボタンを押すと音声が再生されます。

音声再生中画面

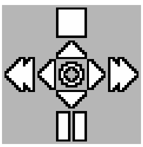


再生経過時間カウンター

総記録時間

操作ガイドアイコン

音声再生中は・・・



▲ボタンを押すと停止します。

▼ボタンを押すと一時停止します。

▶ボタンを押し続けている間、早送り再生します。

◀ボタンを押し続けている間、逆早送り再生します。

メモ

- 音声はカメラ設定メニューにより設定されたスピーカー音の音量で再生されますが、音声の再生中にダイレクトでスピーカー音の調整ができます。Ⓦボタンを押すと音量が小さくなり、Ⓣボタンを音量が大きくなります。
- パソコンに移したファイルを再生する場合は、WAV ファイルの再生が可能なソフトで再生してください。

画像をプリントする

この章では、DP1 で撮影した静止画（JEPG データ）をパソコンを使わずに手軽にプリントする方法を説明します。ピクトブリッジ規格を利用したダイレクトプリントや、お店でのデジタルプリントシステムでは、RAW データ（X3F ファイル）を直接プリントすることはできません。RAW で撮影されたファイル（X3F ファイル）は、パソコンにインストールされた画像ソフト「SIGMA Photo Pro」等で JPEG 形式に変換する必要があります。詳しくは、同梱の SIGMA Photo Pro Disc 内の SIGMA Photo Pro 使用説明書（PDF ファイル）をご覧ください。

ピクトブリッジ対応プリンターでプリントする

DP1 を付属の USB ケーブルでピクトブリッジ対応のプリンターと接続すると、パソコンを使わずに手軽に印刷することができます。

1

MENU/OK ボタンを押して「🔧 **カメラ設定**」メニューを開き、⇕ボタンを押して「**USB モード**」を選択し、▶ボタンを押します。

2

⇕ボタンを押して「**PictBridge**」を選択し、▶ボタンか MENU/OK ボタンで確定します。

3

プリンターが印刷できる状態であることを確認し、カメラとプリンターを付属の USB ケーブルで接続します。

4

接続が成功すると、**A.**ピクトブリッジ初期画面が表示されます。⇕ボタンで下記のいずれかを選択し、▶ボタンを押します。

A.ピクトブリッジ初期画面

画像を選択する	**B.**画像/枚数指定画面に移ります。
DPOF 設定を利用する （DPOF 設定されていない場合は選択できません）	「▶ **再生設定**」メニューの「**DPOF プリント**」で設定したプリント枚数指定を利用することができます。（**P.101**）こちらを選択した場合は手順 **8** に飛びます。

ご注意 !!

- カメラにカードが入っていなかった場合、「**カードがはいっていません**」とメッセージが表示されます。
- カードにプリント可能な静止画データが入っていなかった場合、「**画像がありません**」とメッセージが表示されます。
- 「**プリンターエラー**」のメッセージが表示されたときは、プリンターを印刷できる状態になるように対処してください。
- RAW データ（X3F ファイル）は、プリントすることができません。
- プリンターによっては DPOF 設定を利用できない場合があります。その場合は「**DPOF 設定を利用する**」は選択できません。

5

B.画像/枚数指定画面が表示されます。▲▼ボタンで「**選択指定**」か「**全ての画像**」のいずれかを選択して、▶ボタンを押します。

B.画像/枚数指定画面

選択指定	カード内のプリントしたい画像に対して異なる枚数を指定することができます。プリントしたい画像を◀▶ボタンで表示させて、▲▼ボタンを押して枚数を指定してください。1 回で複数の画像をプリントしたい場合はこの操作を繰り返して指定します。
全ての画像	カードに記録されているプリント可能な静止画データを全て印刷します。▲▼ボタンを押して枚数を指定してください。
全て解除	以前に指定された枚数の指定を全てリセットします。▲▼ボタンを押して「**解除する**」を選択して、MENU/OK ボタンか▶ボタンを押すと、枚数指定が全て解除され、ピクトブリッジ初期画面に戻ります。

6

上記操作で枚数を指定したら、MENU/OK ボタンを押します。

7

C.プリント設定画面が表示されます。⬍ボタンで各項目を選択して、▶ボタンで確定し、プリントの詳細を設定します。

C.プリント設定画面

印刷開始	そのまま MENU OK ボタンを押すと、以下の項目は全てプリンターの設定が優先されてプリントが開始されます。
用紙サイズ	**プリンターの設定を優先** もしくは **カード** / **L** / **2L** / **ハガキ** / **A4** から選択できます。
レイアウト	**プリンターの設定を優先** もしくは **ふちなし印刷** / **ふちあり印刷** / **2 面印刷** / **4 面印刷** / **インデックスプリント**から選択できます。
日付プリント	**プリンターの設定を優先** もしくは **日付を入れない** / **日付を入れる** から選択できます。

8

各項目を設定した後、「**印刷開始**」選択して、MENU OK ボタンを押すとプリントが開始されます。

- プリントが終了すると、ピクトブリッジ初期画面に戻ります。

ご注意 !!

- 上記プリント設定項目に、プリンターが対応していない場合や、指定サイズの用紙がセットされていない場合、正しく印刷されない場合があります。
- プリントが終了するまで、USB ケーブルを抜かないでください。
- 途中でプリントを中止したい場合は、プリンター側で中止を行ってください。

DPOF プリント

カードをデジタルプリント取り扱い店に持ち込んでプリントを依頼するとき、DPOF プリントメニューでプリントしたい画像の選択や枚数をあらかじめカメラで指定しておくことができます。指定情報は DPOF 対応プリンターでプリントする際にも利用できます。

ご注意 !!

- RAW データ（X3F ファイル）は、DPOF プリントの設定ができません。

1

静止画の再生中に MENU/OK ボタンを押して「▶ **再生設定**」メニューを開きます。

2

▲▼ボタンを押して「**DPOF プリント**」を選択し、▶ボタンを押します。

3

DPOF プリント指定メニューから希望の指定方法を選択して ▶ボタンを押します。

DPOF メニュー

選択指定	▲▼ボタンを押して枚数を指定します。1 回で複数の画像を指定したい場合は、プリントしたい画像を ◀▶ボタンで表示させて ▲▼ボタンを押して枚数を指定します。この操作を繰り返して指定します。最後に MENU/OK ボタンを押して確定します。
全ての画像	カードに記録されているプリント可能な静止画データを一括指定します。▲▼ボタンを押して枚数を指定し、MENU/OK ボタンか ▶ボタンを押して確定します。
全て解除	以前に指定された枚数の指定を全てリセットします。▲▼ボタンを押して「**解除する**」を選択して、MENU/OK ボタンか▶ボタンを押すと、枚数指定が全て解除されます。

参考資料

カメラのスペックなどを説明します。

別売アクセサリー

エレクトロニックフラッシュ EF-140 DG SA-STTL

最大ガイドナンバー14（ISO100・m）の小型オートフラッシュです。詳しくは **P.66** をご覧ください

ビューファインダー VF-11

非常に見え味の良いアルバダ式逆ガリレオファインダーです。カメラのホットシューに取り付けて使用します。液晶モニタを使わずにファインダーを覗いて構図を決める、昔ながらの撮影スタイルで写真を撮ることができます。外光の影響で液晶モニタが見づらい場合などにも確実なフレーミングができます。

フードアダプター HA-11

レンズフード本体と、カメラとの取り付け用フードアダプターのセットです。斜めからの不要な光線をカットし、フレアやゴーストを軽減する効果があります。フードアダプター先端にはフィルターネジが切られており、市販の 46mm 径のフィルターやレンズキャップを取り付けることができます。

AC アダプター SAC-3

家庭用電源で DP1 を使用するための専用 AC アダプターです。屋内で大量に撮影する場合や、画像の転送時等にご使用ください。（**P.23**）

お手入れについて

■ボディやレンズのお手入れにシンナーやベンジンなどの有機溶剤は表面の仕上げをいためますので絶対に使用しないでください。ボディやレンズの鏡筒部は柔らかい清潔な布で軽く拭いてください。レンズ面についたほこり等は市販のブロワーで軽く吹き飛ばす程度にし、指紋などがついてしまった場合は市販のレンズクリーナーを使用して慎重に拭きとってください。

■注油の必要はありません。注油は逆効果の恐れがありますので絶対にしないでください。

■液晶モニタにほこりやゴミ等が付着した場合は、市販のブロワーで吹き飛ばしてください。汚れがひどいときは柔らかい清潔な布で軽く拭いてください。

基本用語の解説

AE
Auto Exposure の略で、カメラに内蔵された露出計の値をもとに、自動的に最適な露出（シャッター速度と絞り値の組み合わせ）が決定されます。

AE ロック
AE モードのまま露出を固定する方法です。例えば被写体を画面の中央から外れた構図にしたい場合、一旦被写体を中央に置いて測光値を固定すれば、構図を変えてもバックの明るさに影響されません。（このカメラでは AE ロックボタンを使用します。）

AF
Auto Focus の略で、カメラに内蔵されたセンサーによって、自動的にピントを合わせる機能です。

AF ロック
AF モードのままピントを固定する方法です。例えば被写体を画面の中央から外れた構図にしたい場合、一旦被写体を中央に置いてピントを固定すれば、構図を変えてピントがずれません。（このカメラではシャッターボタンの半押しを利用します。もしくは AEL ボタンを設定変更することにより、AEL ボタンで AF ロックすることもできます。）

CMOS
Complementary Metal Oxide Semiconductor（相補性金属酸化膜半導体）の略で、画素数分のフォトダイオード、増幅装置、ワイヤーからなる撮像素子です。CMOS センサーのメリットは、1 画素ごとに電気信号を増幅し取り出せる構造になっており、応答速度に優れ、消費電力が少ないことがあげられます。

EV
Exposer Value の略で露光量を表す単位で、被写体の明るさとフィルムの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。フィルムに与えられる光量が２倍になると EV 値は＋１、半分になると EV 値は－１変化します。デジタルカメラでも、銀塩写真に準じて EV 値が使われます。

ISO 感度
ISO（国際標準機構）感度として表記されている、フィルムの光に対する感度の強さを示す数値です。ISO 感度は数値が大きくなるほど光に対する感度が強くなります。デジタルカメラでも、銀塩写真に準じて ISO 感度が使われます。

JPEG
Joint Photographic Experts Group の略です。カラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が高いほどファイルサイズは小さくなりますが、画像を復元したときの画像は劣化します。

NTSC (National Television Standards Committee)
アメリカや日本などが採用している地上波アナログカラーテレビ放送の映像信号方式。アナログ・コンポジット方式とも呼ばれています。仕様を作成したアメリカの標準化委員会 (National Television Standards Committee) の略称がそのまま方式名になっています。水平方向の走査線数が 525 本で 1 秒間に 30 フレームで構成されています。

PAL (Phase Alternation by Line)
旧西ドイツで開発され、フランス以外の西ヨーロッパ諸国をはじめ、中国などのアジア諸国やアフリカなどで採用されている地上波アナログカラーテレビ放送の映像信号方式。水平方向の走査線数が 625 本で毎秒 25 フレームで構成されています。

RAW
撮像素子からの情報を特別な演算処理を加えず、パソコン上での画像処理を前提としたデータ形式です。画像の劣化しない方式で圧縮されたデータを専用ソフトで解凍、画像処理ができますので、高画質を保ったまま補正を加えることができます。

色温度
光源から出る光の色合いを、温度を表わすケルビン（K）という単位を使って数字で表わしたもの。基準となる太陽光は 5600 K 付近となり、色温度が低いと赤味が強い光となり、高いと青味が強い光となります。ちなみにタングステン光は 3200 K 程度、パソコンのディスプレイは 9300 K 程度に設定されています。

オートパワーオフ機能
ムダな電力消費を防ぐため、一定の時間カメラを操作せずに放置すると、自動的に電源を OFF にする機能です。

絞り値
撮像素子に当たる光の量をレンズ内の絞り羽根を開けたり閉じたりして調整しますが、この開口部の大きさを表した数字（焦点距離÷開口径）を絞り値と言います。数値が小さいほど明るく、大きくなるほど暗くなります。

シャッター速度
撮像素子に当たる光の量をカメラのシャッターの開いている時間で調整しますが、このシャッターの開いている時間の長さをシャッター速度と言います。

ヒストグラム (histogram)
一般的には分布図のことですが、画像用語としては画像の明るさの分布を表わしたものを指します。水平軸は明るさのレベルを表し、垂直軸が各明るさでの画素の登場回数を表わしています。DP1、および SIGMA Photo Pro のヒストグラム表示は、R（赤）G（緑）B（青）それぞれのレベルを同時に表示するしくみになっています。

ホワイトバランス
人間の目は照明の種類が変わっても、白いものは白く見えるように自動的に調整されます。デジタルカメラは、白いものが白く写るように照明光の色に合わせた調整が必要です。この調整をホワイトバランスと言います。自動的にホワイトバランスを調整する機能をオートホワイトバランスと言います。

露出
撮影するために撮像素子に当てる光の量を露出といいます。また、撮像素子の感度に合わせて適切な光量を当てることを適正露出と言います。露出は、「絞り値」と「シャッター速度」の組み合わせで調整します。

ファイル番号の設定

記録されたデータには、自動的に 0001 から 9999 までのファイル番号が付けられます。データを再生しているときは、液晶モニタの右上にファイル番号が表示されます（**P.70, 75** 参照）。また、ファイル番号はデータのファイル名にも表示されます。ファイル名は、4 ケタのファイル番号と拡張子が SDIM の後に続きます。例えば、画像番号 0023 は RAW データの場合、SDIM0023.X3F、JPEG データの場合、SDIM0023.JPG と記録されます。DP1 で撮影された画像ファイルは、すべてカードの###SIGMA フォルダに記録されます。
ファイル番号は連番か、空のカードを入れるたびにリセットされるかのいずれかができます。設定はセットアップメニューの「ファイル番号」で行います。

メモ

- セットアップメニューの「**カラースペース**」で、「**Adobe RGB**」が選択されている場合、ファイル名の「SDIM」は「_SDI」となります。

ファイル番号設定項目

設定項目	設定内容
通し番号 （初期設定）	連続でファイル番号が付けられます。空のカードを入れたとき、最初のファイルに付けられるファイル番号は、以前の撮影で付けられた最後の番号より１つ大きい番号が付けられます。（DP1 で撮影した画像が記録されているカードを入れた場合、以前に付けられた最後の番号よりもカード内のファイルの番号が大きければ、その番号の続きが付けられます。）
オートリセット	空のカードを入れたり、使用中のカード内の画像をすべて消去するたびに、ファイル番号が初期の番号 0001 にリセットされます。（DP1 で撮影した画像が記録されているカードを入れた場合、番号はリセットされずに次の番号が付けられます。）

ファイル番号の設定

1

MENU/OK ボタンを押します。

2

▶ボタンを押して「**カメラ設定**」メニューを開きます。

3

▲▼ボタンを押して「**ファイル番号**」を選択し、▶ボタンを押します。

4

▲▼ボタンで希望の項目を選択します。

5

確定する場合は、▶ボタンか MENU/OK ボタンを、変更しない場合は、◀ボタンを押します。

LCD スリープとオートパワーオフ

DP1 は電池の消耗を抑えるために、ある一定の時間操作しない状態が続くと、自動的に液晶モニタを OFF にする「**LCD スリープ**」と、電源を OFF にする「**オートパワーオフ**」の機能を備えています。

LCD スリープとは・・・

ある一定の時間操作しない状態が続いたとき、自動的に液晶モニタの表示を OFF にします。LCD スリープ中は、シャッターボタンの半押しか、各ボタンを操作すると、液晶モニタの表示が ON になります。

オートパワーオフとは・・・

ある一定の時間操作しない状態が続いたとき、自動的にカメラの電源を完全に OFF にします。再度撮影や再生をするには、カメラの電源を ON にする必要があります。

LCD スリープ

30 秒
1 分
2 分
5 分
しない

オートパワーオフ

10 秒
30 秒
1 分
2 分
5 分
しない

- 設定を変更する場合には、**P.26「カメラのセットアップメニュー」**を参考にして希望する時間に変更してください。

メモ

- 「**LCD スリープ**」の「**しない**」は自動的に消灯しなくなる設定です。
- 「**オートパワーオフ**」の「**しない**」は自動的に電源が切れなくなる設定です。

ご注意 !!

- 「**LCD スリープ**」の時間よりも、「**オートパワーオフ**」の時間を短く設定した場合、「**オートパワーオフ**」の時間設定が優先されます。例えばを「**LCD スリープ**」を「**5 分**」、「**オートパワーオフ**」を「**1分**」に設定した場合、「**LCD スリープ**」の時間設定は無視され、１分で電源が OFF になります。

故障かな？と思う前に

カメラの調子が悪かったり写真がうまく写らなかった場合、故障と思われる前に次の点を確認してください。

液晶モニタになんの表示も出ない。

電池が消耗している。
▶新しい電池と交換してください。（**P.19~22**）
電池の向きが正しくない。
▶正しい向きに入れ直してください。（**P.20**）
液晶モニタが OFF になっている
▶ ボタンを押して液晶モニタを表示させてください。（**P.32**）
LCD スリープ状態になっている。
▶シャッターボタンを半押しする、もしくはいずれかのボタンを押してください。（**P.106**）

シャッターが切れない。

データ処理中（ビジー状態）になっている。
▶処理が終わるまでお待ちください。
カードの使用容量がいっぱいになっている。
▶新しいカードを入れるか、いらない画像を消去して容量を空けてください。（**P.79 - 81**）

オートフォーカスが動かない。

フォーカスモードが MF になっている。
▶フォーカスモードボタンを押してモードを切り換えてください。（**P.45**）

電源が勝手に切れる。

オートパワーオフが働いている。
▶バッテリーの消耗を抑えるためにオートパワーオフ機能が働いています。不都合がある場合は、セットアップメニューでオートパワーオフの設定を「しない」に設定してください。（**P.106**）

撮影・記録ができない。

カードの使用容量がいっぱいになっている。
▶新しいカードを入れるか、いらない画像を消去して容量を空けてください。（**P.79 - 81**）
電池が消耗している。
▶新しい電池と交換してください。（**P.19~21**）
カードにロックがかかっている。
▶カードのロックを解除してください。（**P.10**）

カードのデータが壊れている。

▶カードに必要なデータが残っている場合にはパソコンにバックアップをとった後、カメラでカードを初期化してください。（**P.35**）

液晶モニタの表示・画像が不鮮明になる。

ゴミや汚れが付いている。

▶ブロワーで吹き飛ばしたり、柔らかい清潔な布で拭き取ってください。（**P.102**）

液晶モニタが劣化している。

▶お買い上げの販売店もしくは弊社営業所にご相談ください。

画像がボケて写っている。

ピントが合わないままシャッターを切っている

▶シャッターを半押しして、フォーカスフレームが緑色になったのを確認してシャッターを切ってください。（**P.45**）

フォーカスモードが MF になっている。

▶フォーカスモードボタンを押してモードを切り換えてください。（**P.45 - 47**）

手ブレをおこしている。

▶フラッシュ撮影をするか、三脚等を利用してカメラを固定して撮影してください。（**P.43, 44, 66**）

画像を消去できない。

画像にロックがかかっている。

▶ロックを解除してください。（**P.82 - 84**）

撮影年月日・時間が正しく表示されない。

日付・時間が正しく設定されていない。

▶日付・時間を正しく設定してください。（**P.25**）

テレビに画像が出ない。

AV ケーブルがしっかりと差し込まれていない。

▶AV ケーブルを根元までしっかりと差し込んでください。

映像端子（黄色）と音声端子（白）が正しく接続されていない。

▶映像端子（黄色）と音声端子（白）が正しく接続されているかチェックしてください。（**P.78**）

音声が再生されない

音量がゼロになっている。

▶動画、音声の再生中は T ボタンを押して音量をあげてください。（**P.74, 95, 97**）

▶「**カメラ設定**」メニューの「スピーカー音」を調整してください。（**P.28 - 31**）

主な仕様

撮像素子	FOVEON　X3® (CMOS)	
撮像素子サイズ	20.7×13.8mm	
有効画素数	約 1406 万画素 (2652×1768×3 層)	
アスペクト比	3 : 2	
レンズ	16.6mm（35mm カメラ換算：28mm 相当の画角）	
レンズ F 値	F4 ~ F11	
レンズ構成	5 群 6 枚	
撮影範囲	50cm ~ ∞、30cm ~ ∞ (FULL モード)	
記録媒体	SD / SDHC メモリーカード、マルチメディアカード	
記録フォーマット	Exif 2.21 準拠、DCF 2.0 準拠、DPOF 準拠	
ファイルフォーマット	静止画	X3F (ロスレス圧縮 RAW)(12-bit) JPEG (Fine、Nomal、Basic)
	動画	AVI
	音声	WAV
画像サイズ (記録画素数)	静止画	High : 2640×1760 Wide : 2640×1485 Medium : 1872×1248 Low : 1312×880
	動画	QVGA : 320×240 (映像範囲 320×212)
ホワイトバランス	8 種 (オート、晴れ、日陰、くもり、白熱電球、蛍光灯、フラッシュ、カスタム)	
ISO 感度	AUTO (ISO100~ISO200) (フラッシュ撮影時 ISO100~ISO400)、ISO100、ISO200、ISO400、ISO800	
オートフォーカス	コントラスト検出方式	
測距点	9 点 (選択可)	
フォーカスロック	シャッター半押しによる（メニュー設定により AE ロックボタンによる AF ロック可）	
マニュアルフォーカス	ダイヤル式	
測光方式	評価測光、中央部重点平均測光、スポット測光	
露出制御方式	オートモード、(P) プログラム AE、(A) 絞り優先 AE、(S) シャッター優先 AE、 (M) マニュアル	
露出補正	±3EV (1/3 ステップ)	
AE ロック	AE ロックボタンによる	
オートブラケット	±3EV (1/3 ステップ、適正→アンダー→オーバー)	
シャッター速度	1/1000 秒※ ~ 15 秒　(※F 値によって 1/2000 秒まで)	
内蔵フラッシュ	手動ポップアップ式、ガイドナンバー: 6 (ISO100 / m)	
フラッシュ到達距離	約 30cm ~ 2.1m (ISO200 時)、約 30cm ~ 3m (ISO オート時)	

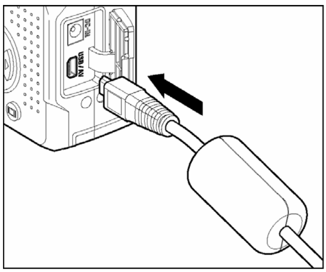
フラッシュモード	強制発光、赤目軽減発光、スローシンクロ
外部フラッシュ	ホットシュー (X 接点、専用フラッシュ連動接点付)
ドライブモード	1 コマ撮影、連続撮影(3 コマ連写)、 セルフタイマー (2 秒 / 10 秒)
液晶モニタ	約 23 万画素 2.5 型 TFT カラー液晶
表示言語	8 言語 (英語 / 日本語 / ドイツ語 / 中国語(簡体字) / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / 韓国語)
インターフェース	USB 端子 (2.0)、 ビデオ出力 (NTSC / PAL)、オーディオ出力 (モノラル)
電源	専用リチウム充電池 (Li-ion Battery BP-31)、 AC アダプター SAC-3 (別売)
撮影可能枚数	約 250 枚（Li-ion Battery BP-31 使用、25℃時）
大きさ	113.3mm (幅) × 59.5mm (高さ) ×50.3mm (奥行)
質量	250g (電池、カード除く)

パソコンとの接続について

カードに記録されたファイルは、DP1 をパソコンに接続して転送することができます。画像データの転送速度はパソコンの性能やオペレーションシステムにより変わります。
パソコンとの接続方法の詳細は、同梱の **SIGMA Photo Pro Disc** 内の **SIGMA Photo Pro** 使用説明書（PDF ファイル）をご覧ください。

接続に関するご注意

- 「**カメラ設定**」メニューの「**USB モード**」が「**ストレージ**」に設定されていることを確認し、付属の USB ケーブルでカメラとパソコンを接続してください。
- USB 接続中は、カメラのシャッターボタンと液晶モニタは使用できません。
- USB 接続中は、カメラのオートパワーオフの機能が働きません。



警 告 !!

- パソコンとの接続には、付属の専用ケーブル以外は使用しないでください。他のケーブルを使用すると、故障の原因になることがあります。

株式会社シグマ
本　　　社
〒215-8530 神奈川県川崎市麻生区栗木 2 丁目 4 番 16 号
☎(044) 989-7430(代)　FAX: (044) 989-7451　　(カスタマーサービス直通) ☎(044) 989-7436

大阪営業所 〒541-0059 大阪市中央区博労町 1-7-2　堺筋トラストビル 8F　☎06(6271)1548
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 1-11-15 博多駅東ロビル 6F　☎092(475)5635
札幌営業所 〒007-0865 札幌市東区伏古 5 条 4 丁目 1 番 9 号 伏古ビル 2F　☎011(786)3710
工　　　場 〒969-3395 福島県耶麻郡磐梯町大字大谷字日知坂 6594　☎0242(73)2771(代)

インターネットホームページアドレス **http://www.sigma-photo.co.jp**